

八女市内遺跡群 3

福岡県八女市平・国武所在遺跡の発掘調査報告書
八女市文化財調査報告書 第106集

2014

八女市教育委員会

八女市文化財調査報告書 第106集

八女市内遺跡群 3

福岡県八女市平・国武所在遺跡の発掘調査報告書

八女市文化財調査報告書 第106集

2014

八女市教育委員会

序

八女市において県営圃場整備事業が開始されたのは、昭和５７年度からで八女南部から実施されました。

八女市教育委員会では、その緊急調査として昭和６０年度から圃場整備を実施する事業地内の埋蔵文化財発掘調査を進めて参りました。発掘調査の結果、八女南部地区には弥生時代を中心とする貴重な遺跡が数多く発見され、この地域の文化を考える上で重要な成果をあげることができました。

本書は、昭和６２年度に発掘調査を実施した八女市大字平（現：八女市平）に所在する上島町・日津町遺跡及び八女市大字国武（現：八女市国武）に所在する大坪・前田遺跡の２遺跡についての埋蔵文化財発掘調査報告書です。

これまで埋蔵文化財調査概報のみの報告でしたが、国・県より補助を受け発掘調査埋蔵文化財調査報告書として発行する機会を得ました。

報告書作成にあたりまして、終始ご協力いただきました福岡県、福岡県八女県土木整備事務所、地元町内会をはじめ関係各位に深く感謝申し上げます。

平成２６年３月３１日

八女市教育委員会

教育長 西島 民生

例 言

- 1 本書は、八女市平字大坪・字前田、八女市国武字上島町・字日津町所在遺跡における発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、八女市教育委員会が実施した。
- 3 発掘調査で検出した遺構の名称・番号については、昭和62年度の調査時に準じて付しているが、重複等の混乱も見られる事からわずかに新番号を付したものもある。
- 4 本書に使用した現地測量図については、昭和62年度に実施された発掘調査当時の担当責任者を中心として参加者で分担して行った。
出土遺物の実測図作成については、岩戸山歴史資料館において実施された。
- 5 本書に使用した現地写真は、発掘調査当時の担当責任者が撮影した。出土遺物の撮影については、岩戸山歴史資料館において本報告における整理担当者が撮影した。
- 6 本書使用の方位については、すべて磁北を基準としてる。
- 7 本書の執筆及び編集については、中川が行った。執筆するにあたり、平成元年に刊行されている埋蔵文化財調査概報（八女市文化財調査報告書第18集）を参考とした。
- 8 本書に関する調査記録及び出土遺物は、岩戸山歴史資料館において保管・収蔵している。

本文目次

- 1 はじめに
- 2 位置と環境
- 3 各遺跡の調査概要
 - (1) 上島町・日津町遺跡
 - ①調査の概要
 - ②遺構
 - ③まとめ
 - (2) 大坪・前田遺跡
 - ①調査の概要
 - ②遺構と遺物
 - ③まとめ

插图目次

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 第 1 図 | 上島町・日津町遺跡、大坪・前田遺跡と周辺の遺跡分布図〔1／25，000〕 |
| 第 2 図 | 上島町・日津町遺跡、大坪・前田遺跡位置図〔1／5，000〕 |
| 第 3 図 | 上島町・日津町遺跡遺構配置図〔1／400〕 |
| 第 4 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD01) 断面図〔1／40〕 |
| 第 5 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD02) 断面図〔1／40〕 |
| 第 6 図 | 上島町・日津町遺跡 溝C—D (SD02) 断面図〔1／40〕 |
| 第 7 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD03) 断面図〔1／40〕 |
| 第 8 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD04) 断面図〔1／40〕 |
| 第 9 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD05) 断面図〔1／40〕 |
| 第10 図 | 上島町・日津町遺跡 溝C—D (SD05) 断面図〔1／40〕 |
| 第11 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD06) 断面図〔1／40〕 |
| 第12 図 | 上島町・日津町遺跡 溝C—D (SD06) 断面図〔1／40〕 |
| 第13 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD07) 断面図〔1／40〕 |
| 第14 図 | 上島町・日津町遺跡 溝C—D (SD07) 断面図〔1／40〕 |
| 第15 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD08) 断面図〔1／40〕 |
| 第16 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD09) 断面図〔1／40〕 |
| 第17 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD10) 断面図〔1／40〕 |
| 第18 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD11) 断面図〔1／40〕 |
| 第19 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD15) 断面図〔1／40〕 |
| 第20 図 | 上島町・日津町遺跡 溝A—B (SD16) 断面図〔1／40〕 |
| 第21 図 | 大坪・前田遺跡1地点遺構配置図〔1／400〕 |
| 第22 図 | 大坪・前田遺跡1地点 掘立柱建物 (SB02) 実測図〔1／80〕 |
| 第23 図 | 大坪・前田遺跡1地点 掘立柱建物 (SB03) 実測図〔1／80〕 |
| 第24 図 | 大坪・前田遺跡1地点 掘立柱建物 (SB04) 実測図〔1／80〕 |
| 第25 図 | 大坪・前田遺跡2地点遺構配置図〔1／400〕 |
| 第26 図 | 大坪・前田遺跡2地点 土壇 (SK01) 実測図〔1／40〕 |
| 第27 図 | 大坪・前田遺跡2地点 土壇 (SK02) 実測図〔1／40〕 |
| 第28 図 | 大坪・前田遺跡2地点 土壇 (SK03) 実測図〔1／40〕 |
| 第29 図 | 大坪・前田遺跡2地点 土壇 (SK04) 実測図〔1／40〕 |
| 第30 図 | 大坪・前田遺跡2地点 土壇 (SK05) 実測図〔1／40〕 |

- 第31図 大坪・前田遺跡2地点 溝(SD02)土層図〔1/40〕
- 第32図 大坪・前田遺跡3・4地点遺構配置図〔1/500〕
- 第33図 大坪・前田遺跡3地点 掘立柱建物(SB05)実測図〔1/80〕
- 第34図 大坪・前田遺跡3地点 竪穴住居(SB06)実測図〔1/80〕
- 第35図 大坪・前田遺跡3地点 竪穴住居(SB07)実測図〔1/80〕
- 第36図 大坪・前田遺跡3地点 竪穴住居(SB08)実測図〔1/80〕
- 第37図 大坪・前田遺跡3地点 竪穴住居(SB09)実測図〔1/80〕
- 第38図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB12)実測図〔1/80〕
- 第39図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB14)実測図〔1/80〕
- 第40図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB15)実測図〔1/80〕
- 第41図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB22)実測図〔1/80〕
- 第42図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB24)実測図〔1/80〕
- 第43図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB25)実測図〔1/80〕
- 第44図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB27)実測図〔1/80〕
- 第45図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB28)実測図〔1/80〕
- 第46図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB29)実測図〔1/80〕
- 第47図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB31)実測図〔1/80〕
- 第48図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB32)実測図〔1/80〕
- 第49図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB33)実測図〔1/80〕
- 第50図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB34)実測図〔1/80〕
- 第51図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB35)実測図〔1/80〕
- 第52図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB36)実測図〔1/80〕
- 第53図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物(SB39)実測図〔1/80〕
- 第54図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居(SB17)実測図〔1/80〕
- 第55図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居(SB38)実測図〔1/80〕
- 第56図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居(SB40)実測図〔1/80〕
- 第57図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居(SB41)実測図〔1/80〕
- 第58図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居(SB42)実測図〔1/80〕
- 第59図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居(SB43)実測図〔1/80〕
- 第60図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK06)実測図〔1/40〕
- 第61図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK08)実測図〔1/40〕
- 第62図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK11)実測図〔1/40〕
- 第63図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK14)実測図〔1/40〕
- 第64図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK15)実測図〔1/40〕
- 第65図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK16)実測図〔1/40〕
- 第66図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK17)実測図〔1/40〕
- 第67図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK18)実測図〔1/40〕
- 第68図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK19)実測図〔1/40〕
- 第69図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK20)実測図〔1/40〕
- 第70図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK21)実測図〔1/40〕
- 第71図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK22)実測図〔1/40〕
- 第72図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK23)実測図〔1/40〕
- 第73図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK25)実測図〔1/40〕
- 第74図 大坪・前田遺跡4地点 不明遺構(SX01)実測図〔1/80〕
- 第75図 大坪・前田遺跡4地点 不明遺構(SX03)実測図〔1/80〕
- 第76図 大坪・前田遺跡4地点 土壌(SK12)実測図〔1/40〕
- 第77図 大坪・前田遺跡1地点 掘立柱建物(SB03)、2地点 土壌(SK01)・溝(SD02・03)出土土器実測図〔1/4〕
- 第78図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居(SB13・17・23・24・31・33・35)出土土器実測図〔1/4〕
- 第79図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居(SB38~42)出土土器実測図〔1/4〕
- 第80図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居(SB43)、SK(07・09・12・23)出土土器実測図〔1/4〕
- 第81図 大坪・前田遺跡4地点 SX(01・03)出土土器実測図〔1/4〕
- 第82図 大坪・前田遺跡4地点 SB(40・42)、SX(03)出土石製品実測図〔1/3〕

表 目 次

- 表1 大坪・前田遺跡1地点・4地点 SB・SK・SD・SX 出土土器観察表①～②
表2 大坪・前田遺跡4地点 SB・SX 出土石製品観察表

図 版 目 次

図版1

- (1) 上島町・日津町遺跡 SD01～03 (南から)
- (2) 上島町・日津町遺跡 SD02～05 (西から)
- (3) 上島町・日津町遺跡 SD07 (西から)
- (4) 上島町・日津町遺跡 SD08 (西から)
- (5) 上島町・日津町遺跡 SD09～10 (西から)
- (6) 上島町・日津町遺跡 SD12 (西から)
- (7) 上島町・日津町遺跡 SD14 (北から)
- (8) 上島町・日津町遺跡 SD15～16 (北から)

図版2

- (1) 大坪・前田遺跡1地点 全景 (北から)
- (2) 大坪・前田遺跡1地点 SB01 (西から)
- (3) 大坪・前田遺跡1地点 SB02・03・04 (西から)
- (4) 大坪・前田遺跡3地点 SB06 (西から)
- (5) 大坪・前田遺跡3地点 SB09 (北から)
- (6) 大坪・前田遺跡4地点 SB11・SK06 (西から)
- (7) 大坪・前田遺跡4地点 SB12 (北から)
- (8) 大坪・前田遺跡4地点 SB12 (西から)

図版3

- (1) 大坪・前田遺跡4地点 SB17 (東から)
- (2) 大坪・前田遺跡4地点 SB18・19 (北から)
- (3) 大坪・前田遺跡4地点 SB22・SD12 (東から)
- (4) 大坪・前田遺跡4地点 SB23・24・25 (西から)
- (5) 大坪・前田遺跡4地点 SB26 (東から)
- (6) 大坪・前田遺跡4地点 SB27 (西から)
- (7) 大坪・前田遺跡4地点 SB28・SK12 (南東から)
- (8) 大坪・前田遺跡4地点 SB29 (南東から)

図版4

- (1) 大坪・前田遺跡4地点 SB31・SD09 (南東から)
- (2) 大坪・前田遺跡4地点 SB32・33 (北東から)
- (3) 大坪・前田遺跡4地点 SB35・36 (北東から)
- (4) 大坪・前田遺跡4地点 SB38 (北から)
- (5) 大坪・前田遺跡4地点 SB40・41 (南から)
- (6) 大坪・前田遺跡4地点 SB42・43 (北東から)
- (7) 大坪・前田遺跡2地点 SK01・04 (西から)
- (8) 大坪・前田遺跡4地点 SK12 (南から)

図版5

- (1) 大坪・前田遺跡4地点 SD12 (北東から)
- (2) 大坪・前田遺跡4地点 SD14・SB41 (南から)
- (3) 大坪・前田遺跡4地点 SX01 (北西から)
- (4) 大坪・前田遺跡4地点 SX02 (南西から)
- (5) 大坪・前田遺跡4地点 SX03 (西から)
- (6) 大坪・前田遺跡 現場説明会

図版6～10 遺物写真

1 はじめに

昭和57年度を初年度とする八女市南部地区県営圃場整備事業は、一級河川矢部川から山ノ井川までの地域約209haを整備するために計画された。昭和57年度は川犬地区を中心として約6.68haが整備され、逐次北側に向かって毎年20ha前後の整備が進められた。

八女市南部地域での埋蔵文化財は、昭和56年に福岡県が実施した分布調査によると3基の古墳と2ヶ所の散布地が周知の遺跡として確認されていたにすぎない。昭和56年9月～10月に、圃場整備地内の計画が具体化し、地区内の9ヶ所において試掘調査が実施され、7ヶ所で遺構・遺物が発見された。

この後、年度毎に次年度事業予定地の試掘調査を行い、事業地内の埋蔵文化財の把握に努めながら、市当局、県教育委員会、土地改良区、福岡県筑後川水系農地開発事務所と協議を重ね、事業地内において削平、または削平を受ける部分を中心に毎年発掘調査を実施して行った。

本報告書の調査・報告書に関わった関係者は次のとおりである。

【昭和62年度】

〔調査主体〕

八女市教育委員会

教育長	坂 田 不二夫
社会教育課課長	平 嶋 敏 章
同 課長補佐	杉 山 信 行
同 係員	梅 野 満
同 係員	平 田 高 義
同 係員	平 嶋 芳 子
同 係員	赤 崎 敏 男（調査担当）
同 嘱託	鹿 田 昌 宏

〔事業主体〕

八女南部土地改良区

理事長	川 口 一 男（8月まで）
	角 實 雄（9月から）
事務局長	政 次 春 男
事務局次長	栗 原 昭
事務局員	金 納 三枝子

福岡県筑後川水系農地開発事務所

工事第一課	
第二係係長	田 中 耕 三
技師	秋 山 勝 年
同	中 村 健 一

【平成25年度】

八女市教育委員会

教育長	西 島 民 生
教育部長	井 上 俊 裕
文化課課長	井 上 秀 樹
文化財係長	大 塚 恵 治
文化振興係長	中 川 寿賀子（報告書担当）
文化財係係員	永 田 寧
文化財係係員	渡 部 真 弓

2 位置と環境

八女市南部地区県営圃場整備事業の実施地区は、八女市市街地の南部にあり、南側を流れる矢部川によって形成された肥沃な沖積平野が一面にわたって広がっている。平野は、東側から西側に向かって緩やかに高さを減じているが、ほぼ平坦地であり大半が水田や畑地として利用されている。

平野部の北側は、東西に長く連なる八女丘陵と、平野から派生した台地からなっている。八女丘陵上には、国指定史跡岩戸山古墳をはじめ11基の前方後円墳と約300基の古墳が点在しており、八女古墳群と呼ばれている。また、台地上や縁辺部には、弥生前期から後期にかけての集落・墓地が多く営まれており、特に室岡遺跡群（亀ノ甲遺跡・山ノ上遺跡・北小路遺跡）は代表的な遺跡である。

圃場整備事業地内の八女市川犬・新庄・平・国武・緒玉においては昭和55年度まで川犬古墳群3基と平遺跡（弥生～古墳時代：甕棺片・石棺片・土器片）、緒玉天満宮遺跡（弥生時代：土器片）が確認されていたが、昭和56年の予備調査で新たに縄文時代から歴史時代に至る7カ所の遺跡が発見された。この結果、圃場整備予定地内に相当数の遺跡が存在することが予想された。また、当該地域の小字名には、「六ノ上」「三十六」「八反田」「六反田」「北長坪」「南長坪」「大坪」などといった条里に関係する地名があり、里道や畦畔も条里の痕跡を残している所から、条里関係遺跡の存在も考えられている。

【参考文献】

八女市教育委員会 1989 『八女市文化財調査報告書 第18集』



- | | | | | |
|--------------|----------|-------------|--------------|-------------|
| 1. 上島町・日津町遺跡 | 5. 袴田遺跡 | 9. 野田遺跡 | 13. 新庄・六反田遺跡 | 17. 鍛冶屋遺跡 |
| 2. 大坪・前田遺跡 | 6. 野田遺跡 | 10. 立野・大坪遺跡 | 14. 川犬古墳群 | 18. 茶ノ木ノ本遺跡 |
| 3. 深田遺跡 | 7. 二反田遺跡 | 11. 樋の口遺跡 | 15. 西山ノ上遺跡 | 19. アモメ遺跡 |
| 4. 京田遺跡 | 8. 宿町遺跡 | 12. 川原遺跡 | 16. 亀の甲遺跡 | 20. 岩戸山古墳 |
| | | | | 21. 乗場古墳 |

第1図 上島町・日津町遺跡、大坪・前田遺跡と周辺の遺跡分布図〔1／25,000〕

3 各遺跡の調査概要

(1) 上島町・日津町遺跡

①発掘調査の概要

本遺跡は、八女市西部に位置する八女市大字平（現：八女市平）字上島町及び字日津町に所在しており、昭和62年度調査として11月6日から翌63年1月14日までの期間に発掘調査が実施された。調査面積は、3,540㎡であった。

調査区域は、八女市平地区の集落西側に広がる微高地の西端に位置し、標高22.5mで周囲の水田面からの比高0.5mをはかる。調査が実施されたのは、微高地の西側を通る幹線道路の部分と削平を受ける部分について実施された。

②遺構

発掘調査の結果、歴史時代の溝16条と多数の柱穴が発見された。また、遺物については図示できないような小片の土師器・須恵器と青磁等が出土した。

溝（SD）

SD01（第4図・図版1）

調査区の南西隅で発見されており、流路は北西から南へ流れる。検出全長は、9.1mで幅は65～90cmである。断面は、逆台形を呈し残存高は25cm前後である。

遺物は、出土していない。

SD02（第5・6図・図版1）

調査区の南側に位置し、流路は北東から南西に流れる。SD01は、本遺構から南側に分岐している。検出全長は、76.5mで幅は35～110cmである。断面は、逆台形を呈しており残存高は20～40cmである。遺構の東側は、やや北側に湾曲し西側の部分で南側へ緩やかにカーブしている。

遺物は、出土していない。

SD03（第7図・図版1）

調査区の南西に位置し、流路は北から南西へ流れる。検出全長は、8mで幅は50～65cmである。断面は、やや急な逆台形を呈しており残存高は30cmである。

遺物は、出土していない。

SD04（第8図・図版1）

調査区の南側に位置し、流路は東から南西へ流れる。SD03は、本遺構から分岐している。検出全長は、18.9mで幅は50～80cmである。断面は、逆台形を呈しており残存高は20～30cmである。

遺物は、出土していない。

SD05（第9・10図・図版1）

調査区の南側に位置し、流路は東から緩やかにカーブし南西へ流れる。SD04は本遺構の途中から分岐している。また、南側にはSD02があり、ほぼ並列している。検出全長は、72.7mで幅は50～125cmである。断面は、逆台形を呈しており残存高は25～50cmである。

遺物は、出土していない。

SD06 (第11・12図)

調査区の南側に位置し、流路は北東から南西に流れる。溝は西側で終了している。調査区東側で、SD02とSD05に切られており、これらの遺構より時期が古いと思われる。検出全長は、40 mで幅は30～85 cmである。断面は、逆台形と思われるが残存高が8～30 cmと残りが悪く判断が困難である。

遺物は、出土していない。

SD07 (第13・14図・図版1)

調査区の南側に位置し、流路は北側調査区域外から出発しすぐに屈折して南西に流れる。検出全長は、35.7 mで幅は70～100 cmである。断面は、逆台形と思われ、南側が急に立ち上がるが北側は緩やかに立ち上がっており、南側が残りがよい。残存高は25～50 cmである。

遺物は、出土していない。

SD08 (第15図・図版1)

調査区の西側に位置し、流路は北東から南西に流れる。検出全長は、12.2 mで幅は45～60 cmである。断面は、逆台形と思われ、南側が緩やかに立ち上がるが北側は急に立ち上がっており、底面は南側が少し高くなっている。残存高は15 cmである。

遺物は、出土していない。

SD09 (第16図・図版1)

調査区の西側に位置し、流路はほぼ東西に流れる。検出全長は、16 mで幅は55～80 cmである。断面は、残存高が10 cmと残りが悪く不明である。

遺物は、出土していない。

SD10 (第17図・図版1)

調査区の西側にあり、SD09の北側に位置する。流路についても同遺構と平行しており東から南に流れる。また、SD08は本遺構から南側に分岐しており、SD09に切られる。検出全長は、16.7 mで幅は45～80 cmである。断面は、残存高は10 cmと残りが悪く不明である。

遺物は、出土していない。

SD11 (第18図)

調査区の南側に位置し、流路は北東から南西に流れる。SD05から分岐しており、西側で終了している。検出全長は、25.8 mで幅は45～80 cmである。断面は、逆台形で残存高は0.1～40 cmである。

遺物は、出土していない。

SD12 (図版1)

調査区の西側に位置し、流路は南東から北西に流れる。調査区域の中で流路が他の遺構と異なる。検出全長は、17.5 mで幅が30～300 cmで、北側の幅は広く、また残りが悪いため全体の検出には至っていない。南側は途中から急に狭くなっている。残存高は2～7 cmと浅く断面は不明である。

遺物は、出土していない。

SD13

調査区の西側に位置し、流路は南東から北西に流れる。SD12と平行して流れる。北西部分は途切れ

ており、南西部分は調査区域外で一部しか検出できていない。検出全長は、4 mで幅は20～70 cmである。残存高は4 cmと浅く断面は不明である。

遺物は、出土していない。

S D 1 4 (図版1)

調査区の北側に位置し、流路は南東から西へ流れる。S D 1 2、1 3と同方向に流れている。検出全長は、18.9 mで幅は45～110 cmである。残存高は7～23 cmである。

遺物は、出土していない。

S D 1 5 (第19図・図版1)

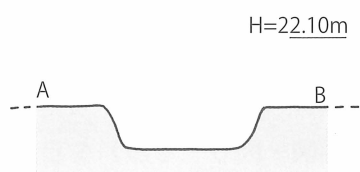
調査区の東側に位置する。流路は北東から南西に流れており、途中から西側へ屈折し西側は終了している。検出全長は、27 mで幅は35～60 cmである。残存高は5～10 cmと残りが悪く、断面は不明である。

遺物は、出土していない。

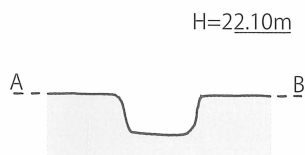
S D 1 6 (第20図・図版1)

調査区の東側に位置し、流路は北東から南西に流れており西側は途中で途切れている。検出全長は、16 mで幅は40 cmである。残存高は5～10 cmと残りが悪く、断面は不明である。

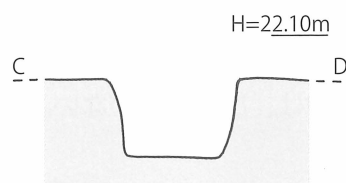
遺物は、出土していない。



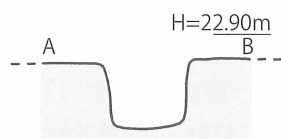
第4図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (S D 0 1) 断面図
〔1 / 4 0〕



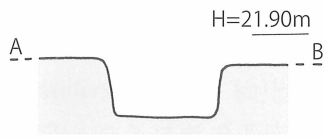
第5図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (S D 0 2) 断面図
〔1 / 4 0〕



第6図 上島町・日津町遺跡
溝C—D (S D 0 2) 断面図
〔1 / 4 0〕



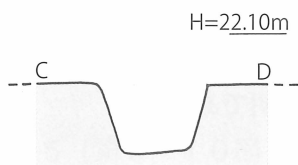
第7図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (S D 0 3) 断面図
〔1 / 4 0〕



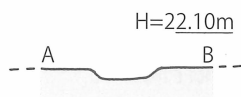
第8図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (S D 0 4) 断面図
〔1 / 4 0〕



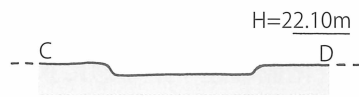
第9図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (S D 0 5) 断面図
〔1 / 4 0〕



第10図 上島町・日津町遺跡
溝C—D (S D 0 5) 断面図
〔1 / 4 0〕



第11図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (S D 0 6) 断面図
〔1 / 4 0〕



第12図 上島町・日津町遺跡
溝C—D (S D 0 6) 断面図
〔1 / 4 0〕



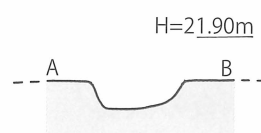
第3図 上島町・日津町遺跡遺構配置図〔1／400〕



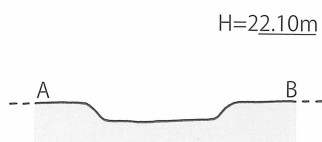
第13図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (SD07) 断面図
〔1/40〕



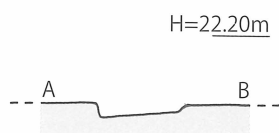
第14図 上島町・日津町遺跡
溝C—D (SD07) 断面図
〔1/40〕



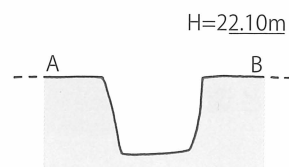
第15図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (SD08) 断面図
〔1/40〕



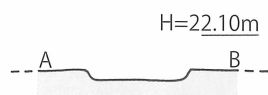
第16図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (SD09) 断面図
〔1/40〕



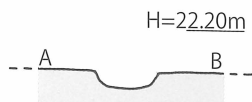
第17図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (SD10) 断面図
〔1/40〕



第18図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (SD11) 断面図
〔1/40〕



第19図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (SD15) 断面図
〔1/40〕



第20図 上島町・日津町遺跡
溝A—B (SD16) 断面図
〔1/40〕

③まとめ

本遺跡の所在する八女市平は矢部川が形成した扇状地に位置する。地名の由来は不詳だが、壇ノ浦合戦で没落した平家一門が住みついたためとも伝えられている。この地には平姓が多い。また、「稿本八女郡誌」によれば平知盛、重盛の塚があるとも伝えられている。南側には弥生・古墳時代の遺跡があり、明応年間（1492～1501）創建の天満神社もあった。

発掘調査の結果、前述したように溝16条と多数のピットが検出された。溝は、本遺跡の全域から検出されており、流路は東西方向のものが多く見受けられた。また、ピットは多数検出されたが建物としてまとまるものはなかった。これらの遺構から少量の土師器・須恵器・青磁片が出土しているが、細片であるため時期を確定するには至らなかった。

本遺跡周辺には、平遺跡群（弥生・古墳・歴史時代）や大石本遺跡（歴史時代）、中里遺跡（弥生・歴史時代）など多くの遺跡が点在しており、古くから人々が定着していたと思われる。

(2) 大坪・前田遺跡

①発掘調査の概要

本遺跡は、昭和 62 年度に発掘調査を実施した八女市大字国武（現・八女市国武）に所在する中里遺跡の北側に位置し、発掘調査以前は、水田と水田より 60 cm ほど高い畑地であった。遺構は水田耕作土の直下から検出された。

調査の結果、弥生時代の竪穴住居 14 軒、掘立柱建物 27 棟、土壇 19 基、円形周溝 3 基、溝 13 条が検出され、歴史時代の遺構は土壇 3 基、溝 1 条が発見された。

②遺構と遺物

1 地点

掘立柱建物（S B）

S B 0 1（図版 2）

調査区中程で検出されており、遺構は柱穴 2 個のみで大半が調査区外であるため規模は不明である。

遺物は、出土していない。

S B 0 2（第 2 2 図・図版 2）

調査区南側で検出されており、規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 4.1 m、東西の桁行長さ 3.0 m で南北棟の建物で、床面積は 12.3 m² である。長軸の方位は N—25°—E で柱穴の掘方は方形を呈している。

遺物は、出土していない。

S B 0 3（第 2 3・7 7 図・図版 2）

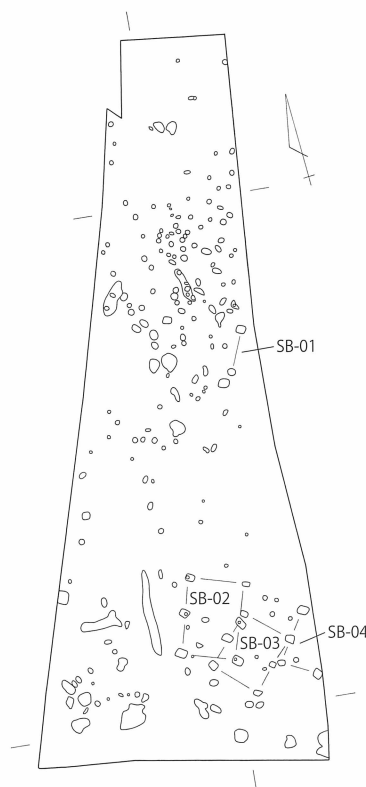
S B 0 2 の東側に位置し、同遺構に切られる。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 3.2 m、東西の桁行長さ 2.8 m で南北棟の建物で、床面積 8.96 m² である。長軸の方位は N—41°—E で柱穴の掘方は方形を呈している。

遺物は、弥生式土器の壺と鉢が出土している。

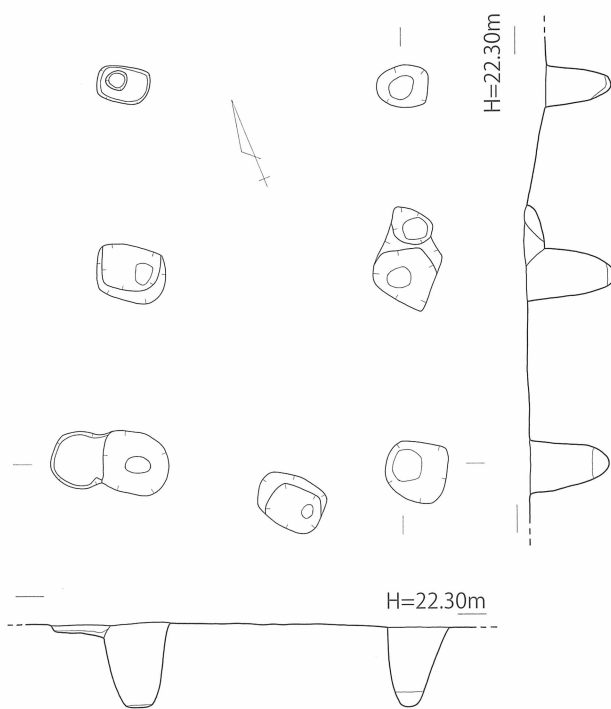
S B 0 4（第 2 4 図・図版 2）

S B 0 3 の東側に位置し、大半が調査区外であるため規模については不明である。検出長は南北の桁行長さ 3.1 m、東西の桁行長さ 2.0 m、床面積 6.2 m² である。長軸の方位は N—32°—E である。

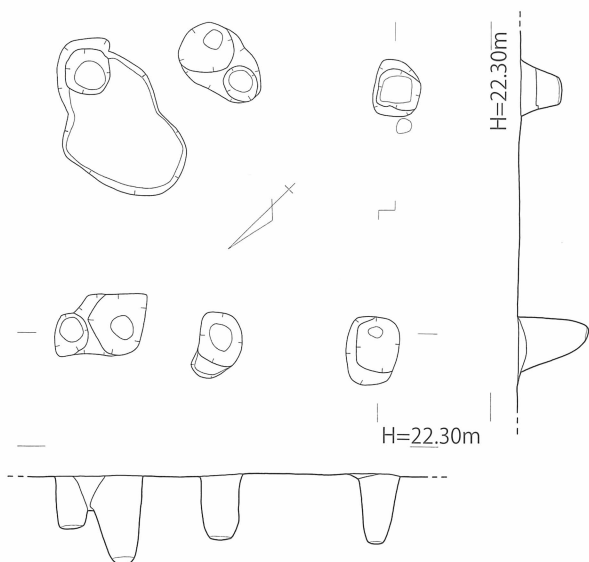
遺物は、出土していない。



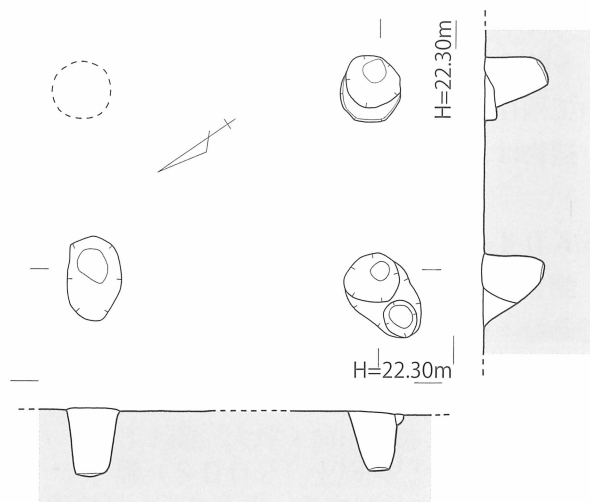
第 2 1 図 大坪・前田遺跡 1 地点
遺構配置図 [1 / 4 0 0]



第 2 2 図 大坪・前田遺跡 1 地点 掘立柱建物
(S B 0 2) 実測図 [1 / 8 0]



第23図 大坪・前田遺跡1地点 掘立柱建物
(S B 0 3) 実測図 [1 / 8 0]



第24図 大坪・前田遺跡1地点 掘立柱建物
(S B 0 4) 実測図 [1 / 8 0]

2 地点

土壙 (S K)

2 地点では5基検出された。東西に主軸を置くもの3基、南北のもの1基、調査区外で判断できないもの1基である。S K 01～03は調査区の北側に集中して見つかった。S K 04は南側に、S K 05は調査区の中程で検出されている。S K 03以南は比較的遺構がなく、また竪穴住居といった人が暮らした痕跡が見つからない。

S K 0 1 (第26・77図・図版4)

調査区の北側で検出された。平面プランは不整形で長軸長1.8m、短軸長1.1mで残存高は13cmである。長軸方位はN-45°-Eである。

遺物は、壺・鉢などが出土している。

S K 0 2 (第27図)

S K 0 1の南側に位置する。平面プランは不整形で長軸長1.5m、短軸長0.85mで残存高は10cmである。長軸方位はN-60°-Eである。

遺物は、出土していない。



第25図 大坪・前田遺跡2地点遺構配置図
[1 / 4 0 0]

SK03 (第28図)

SK02の南側に位置し、大半が調査区外であるため規模は不明である。南北検出長1.3m、東西長0.35mで残存高は65cmである。長軸方位は不明である。

遺物は、出土していない。

SK04 (第29図・図版4)

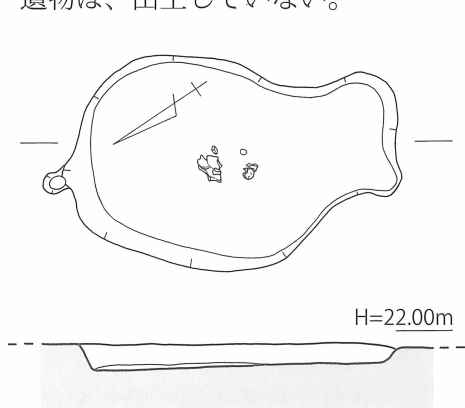
調査区南側に位置する。平面プランは楕円形で長軸長1.0m、短軸長0.75mで残存高は30cm～44cmである。長軸方位はN-70°-Eである。

遺物は、出土していない。

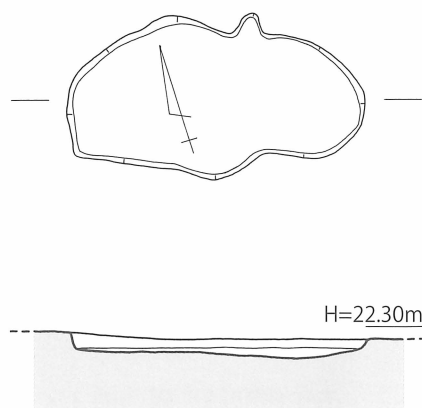
SK05 (第30図)

調査区南側に位置する。平面プランは楕円形で長軸長1.75m、短軸長0.9mで残存高は16cmである。長軸方位はN-6°-Eである。

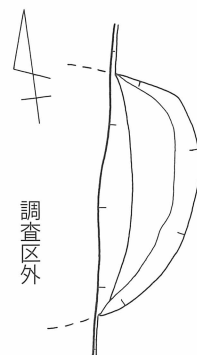
遺物は、出土していない。



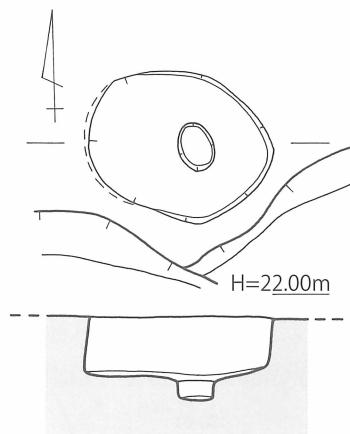
第26図 大坪・前田遺跡2地点
土壌(SK01)実測図
[1/40]



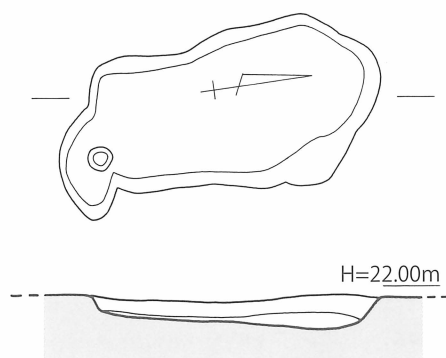
第27図 大坪・前田遺跡2地点
土壌(SK02)実測図
[1/40]



第28図 大坪・前田
遺跡2地点土壌
(SK03)実測図
[1/40]



第29図 大坪・前田遺跡2地点
土壌(SK04)実測図
[1/40]



第30図 大坪・前田遺跡2地点
土壌(SK05)実測図
[1/40]

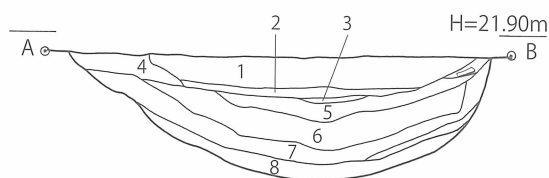
溝(SD)

本遺跡では3条検出されている。いずれも南側で見つかっており、東西方向である。特にSD02は大坪・前田遺跡中規模が最大である。しかし、遺物も出土しておらず他の遺構との切り合いも見受けられない。

S D 0 1

調査区の南側に位置し、東から西に流れるが残りが悪く両端が途切れている。検出長は 8.2 m で幅が 26 cm、残存高は 5 ～ 13 cm である。

遺物は、出土していない。



- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 暗灰褐色土 | 5. 暗黒褐色粘質土 |
| 2. 暗灰褐色土 (砂を含む) | 6. 暗黒褐色土 |
| 3. 暗褐色砂質土 | 7. 黒褐色土 |
| 4. 暗灰黒褐色粘質土 | 8. 砂質土混入する黒褐色土 |

第 3 1 図 大坪・前田遺跡 2 地点
溝 (S D 0 2) 土層図 [1 / 4 0]

S D 0 2 (第 3 1 ・ 7 7 図)

調査区の南側に位置し東西に流れる。検出長は 27.2 m で幅は 275 ～ 330 cm と本遺跡の中ではかなり残りがよい。断面は「U」字形で北側はかなり緩やかに立ち上がる。残存高は 58 cm ～ 68 cm である。

遺物は、弥生式土器の壺・甕・大型甕・高坏・鉢・器台、土師器の坏が出土している。

S D 0 3 (第 7 7 図)

調査区の南側に位置し東西に流れる。検出長は 24.6 m で幅は 40 cm で、残存高は 5 cm ～ 18 cm である。

遺物は、弥生式土器の甕・高坏、現代の陶磁器などが出土している。

S D 0 4

調査区の北側で発見されており、東西方向に流れる。西側は途切れている。検出長は、2.4 m で幅は 35 cm で残存高は 15 cm である。

遺物は、出土していない。

3 地点

旧遺跡名は、大坪遺跡 3 地点である。大坪・前田遺跡 2 地点の西側に位置する。発掘調査の結果、掘立柱建物 2 棟、竪穴住居 4 軒、溝 4 条が検出された。

掘立柱建物 (S B)

S B 0 5 (第 3 3 図)

調査区東側に位置し、S B 0 6 を切る。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 3.8 m、東西の桁行長さ 3.0 m で南北棟の建物で、床面積 11.4 m² である。長軸の方位は N—20°—E である。

遺物は、出土していない。

S B 1 0

調査区の南側に位置し、北側には S B 0 5 がある。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 4.4 m、東西の桁行長さ 3.4 m で南北棟の建物である。長軸の方位は N—65°—E である。柱穴の掘方は円形、楕円形である。

遺物は、出土していない。

竪穴住居（S B）

S B 0 6（第34図）

調査区の東側に位置し、平面プランは長方形である。長軸長 4.63 m、短軸長 3.4 mで残存高は 4 cmである。長軸の方位はN—78°—Eである。柱穴を持たない。

遺物は、出土していない。

S B 0 7（第35図）

調査区の東側に位置し、S B 0 6の南側で検出された。遺構の東側は調査区外であるため規模は不明であるが南北長は 4.0 mで東西検出長は 2.8 mである。残存高は 3 cmである。

遺物は、出土していない。

S B 0 8（第36図）

調査区域のほぼ中央に位置し、S B 0 7の西側で検出された。平面プランは正方形で長軸長 4.8 m、短軸長 4.5 mで残存高は 5 cmである。長軸の方位はN—79°—Eである。柱穴を持たない。

遺物は、弥生式土器の甕が出土している。

S B 0 9（第37図）

調査区域の北側で検出されており一部を攪乱に切られる。規模は不明であるが南北の検出長は 3.15 m、東西長は 4.05 mである。残存高は 6 cmから 10 cmである。長軸方位は不明である。柱穴を持たない。

遺物は、出土していない。

溝（S D）

S D 0 5

調査区の北側で発見されており、方形にめぐると思われるが東側は、区域外であるため確認できていない。溝は、全周しておらず途中で途切れた部分が見受けられる。また、S B 0 9に切られており時期差があると思われる。検出全長は 28.7 m、幅 40 cm～85 cmで残存高は 9 cm～14 cmである。

遺物は、出土していない。

S D 0 6

調査区のほぼ中央で発見されており、北東から南西方向の溝である。長さが 3.3 mと短い。幅は 20 cmから 25 cmで、残存高は 7 cmである。

遺物は出土していない。

S D 0 7

調査区の西側で発見されており、東西方向である。検出長 6.3 m、幅 115 m、残存高は 1～18 cmである。

遺物は、出土していない。

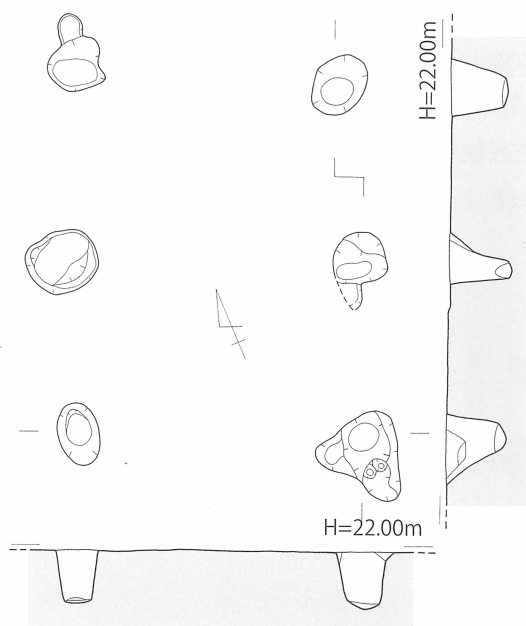
S D 0 8

調査区の東側で発見されており、南北方向に流れる。S B 0 6を切る。検出全長は 7.1 mで幅は 120 cmである。残存高は、3～10 cmである。

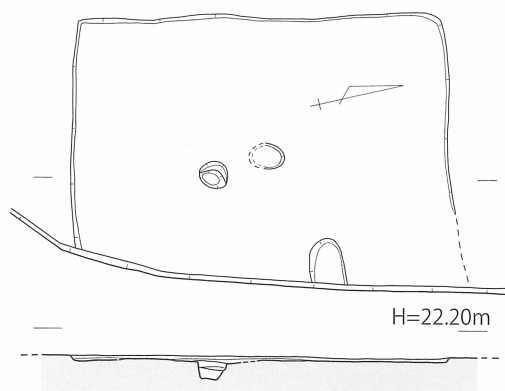
遺物は、出土していない。



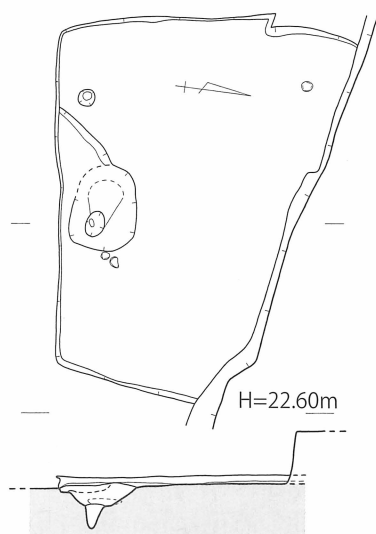
第32図 大坪・前田遺跡3・4地点遺構配置図〔1／500〕



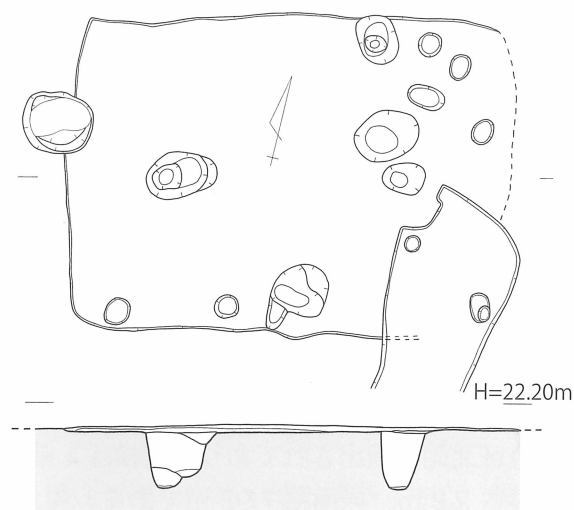
第33図 大坪・前田遺跡3地点 掘立柱建物
(SB05) 実測図〔1/80〕



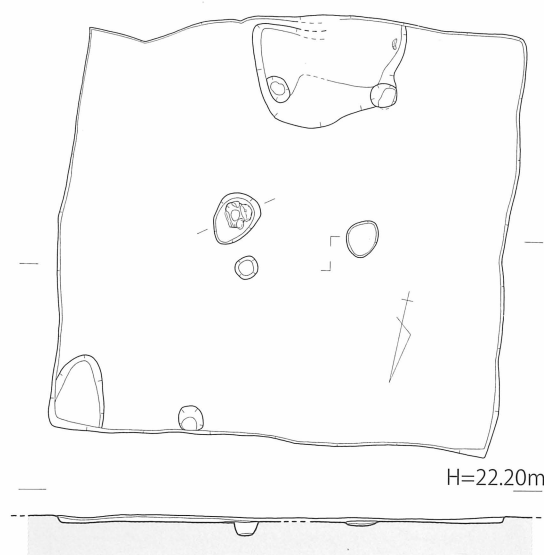
第35図 大坪・前田遺跡3地点 竪穴住居
(SB07) 実測図〔1/80〕



第37図 大坪・前田遺跡3地点 竪穴住居
(SB09) 実測図〔1/80〕



第34図 大坪・前田遺跡3地点 竪穴住居
(SB06) 実測図〔1/80〕



第36図 大坪・前田遺跡3地点 竪穴住居
(SB08) 実測図〔1/80〕

4 地点

旧遺跡名は、前田遺跡 1 地点、2 地点、大坪遺跡 4 地点である。今回、同じ遺跡と考えられたため大坪・前田 4 地点とした。発掘調査の結果、掘立柱建物 2 2 棟、竪穴住居 1 0 軒、土壇 2 0 基、溝 8 条、不明遺構 3 基が発見された。

弥生時代の遺構と遺物

掘立柱建物（S B）

S B 1 1

調査区北側で検出されており、規模は 1 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 3.6 m、東西の桁行長さ 2.2 m、床面積 7.92 m²である。南北の方位はN—31°—Eである。柱穴は 3 つしか検出できていない。

遺物は、出土していない。

S B 1 2（第 3 8 図・図版 2）

調査区北側で検出されており、規模は 1 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 2.95 m、東西の桁行長さ 3.7 m、床面積 10.9 m²である。南北の方位はN—90°—Eである。

遺物は、出土していない。

S B 1 4（第 3 9 図）

調査区北側で検出されており、規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 3.8 m、東西の桁行長さ 2.5 mで、床面積 9.5 m²である。南北の方位はN—17°—Eである。

遺物は、出土していない。

S B 1 5（第 4 0 図）

調査区北側で検出されており、S B 1 4 の西側に位置する。規模は 1 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 1.8 m、東西の桁行長さ 4.1 m、床面積 7.38 m²である。南北の方位はN—16°—Eである。

遺物は、出土していない。

S B 1 8（図版 3）

調査区中央で検出されており、南側は攪乱に切られ規模は不明。柱穴 2 を確認。

遺物は、出土していない。

S B 1 9（図版 3）

調査区中央で検出されており、S B 1 8 同様南側を攪乱に切られる。S B 1 8 と切り合っており時期差がある。

遺物は、出土していない。

S B 2 2（第 4 1 図・図版 3）

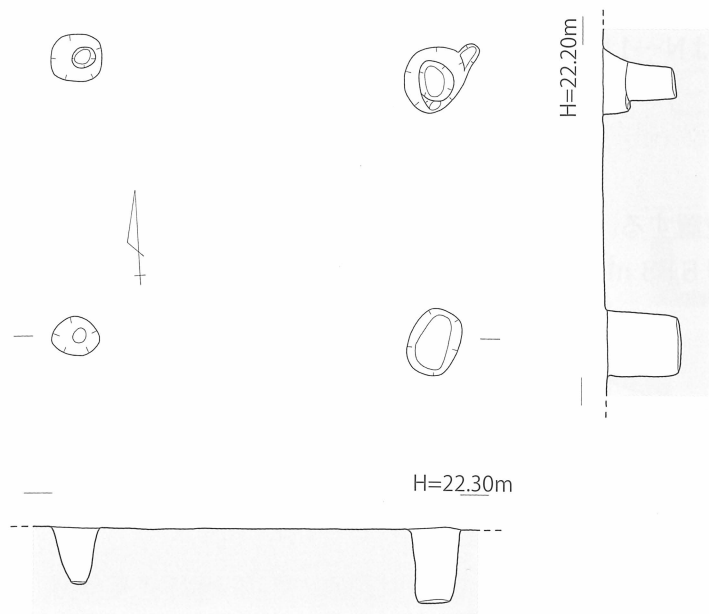
調査区西側で検出されており、S B 1 9 の西側に位置する。規模は 1 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 2.4 m、東西の桁行長さ 2.3 m、床面積 5.52 m²である。南北の方位はN—9°—Eである。

遺物は、出土していない。

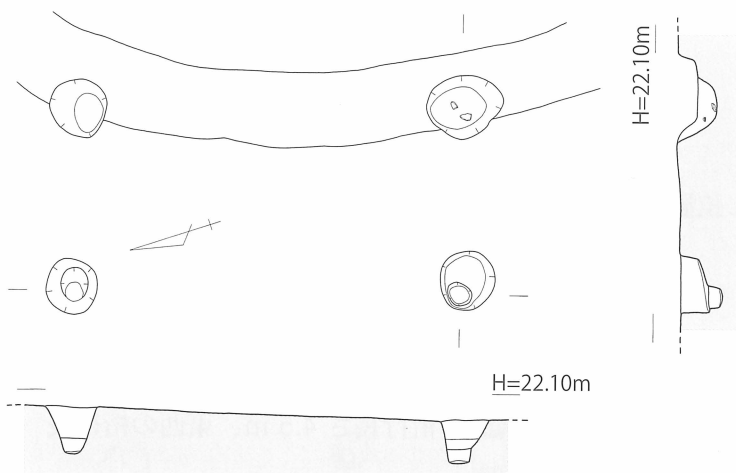
S B 2 3 (図版 3)

調査区北側で検出されており、北側は調査区域外となっている。規模はわかる範囲で1間×1間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ2.3m、東西の桁行長さ2.4m、床面積4.8㎡である。南北の方位はN-65°-Eである。

遺物は、弥生式土器の鉢が出土している。



第38図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物
(S B 1 2) 実測図 [1/80]

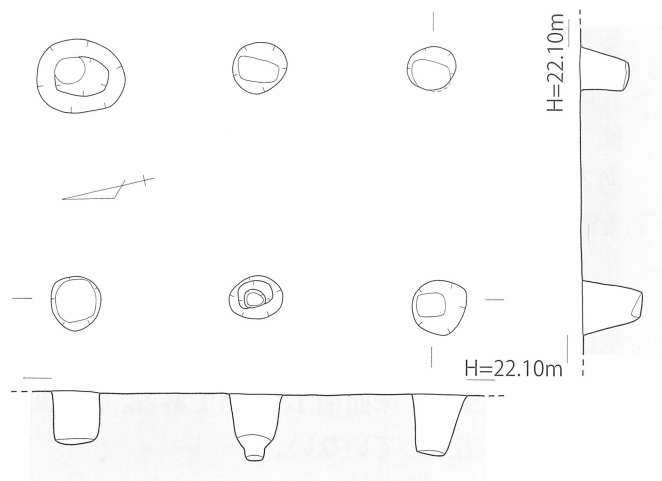


第40図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物
(S B 1 5) 実測図 [1/80]

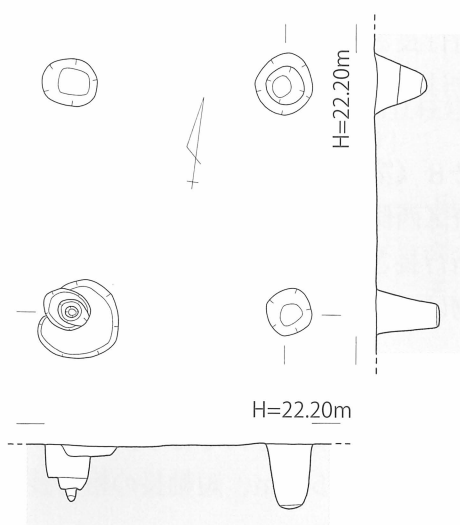
S B 2 4 (第42・78図・図版 3)

調査区北側で検出されており、北側は調査区域外となっている。S B 23と重複する。規模はわかる範囲で1間×1間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ2.9m、東西の桁行長さ3.5m、床面積10.15㎡である。南北の方位はN-69°-Eである。

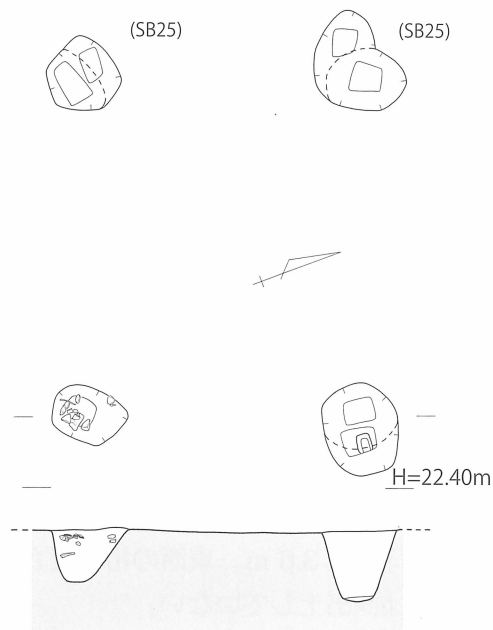
遺物は弥生式土器の壺、土師器の碗が出土している。



第39図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物
(S B 1 4) 実測図 [1/80]



第41図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物
(S B 2 2) 実測図 [1/80]



第42図 大坪・前田遺跡4地点
掘立柱建物 (S B 2 4) 実測図
[1/80]

S B 2 5 (第 4 3 図・図版 3)

調査区北側で検出されており、北側は調査区域外となっている。S B 2 4 と重複する。規模はわかる範囲で 1 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 2.7 m、東西の桁行長さ 3.1 m、床面積 8.37 m²である。南北の方位は N—70°—E である。

遺物は、出土していない。

S B 2 6 (図版 3)

調査区西側で検出されている。規模は 2 間 × 2 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 3.8 m、東西の桁行長さ 3.5 m、床面積 13.3 m²である。南北の方位は N—11°—E である。

遺物は、出土していない。

S B 2 7 (第 4 4 図・図版 3)

調査区西側で検出されており、S B 2 6 の北側に位置する。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 3.7 m、東西の桁行長さ 2.4 m、床面積 8.88 m²である。南北の方位は N—17°—E である。

遺物は、出土していない。

S B 2 8 (第 4 5 図・図版 3)

調査区西側で検出されており、S B 2 7 の西側に位置する。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 5.0 m、東西の桁行長さ 3.6 m、床面積 18.0 m²である。南北の方位は N—44°—E である。

遺物は、出土していない。

S B 2 9 (第 4 6 図・図版 3)

調査区西側で検出されており、S B 2 8 の南側に位置する。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。長軸長の桁行長さ 5.0 m、短軸長の桁行長さ 3.4 m、床面積 14.96 m²である。南北の方位は N—33°—E である。

遺物は、出土していない。

S B 3 0

調査区西側で検出されており、S B 2 9 の南側に位置する。西側は調査区外であるため、規模は不明である。柱穴 2 基を確認。

遺物は、出土していない。

S B 3 1 (第 4 7・7 8 図・図版 4)

調査区西側に位置する。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 4.5 m、東西の桁行長さ 3.4 m、床面積 15.3 m²である。南北の方位は N—30°—E である。

遺物は、弥生式土器の甕が出土している。

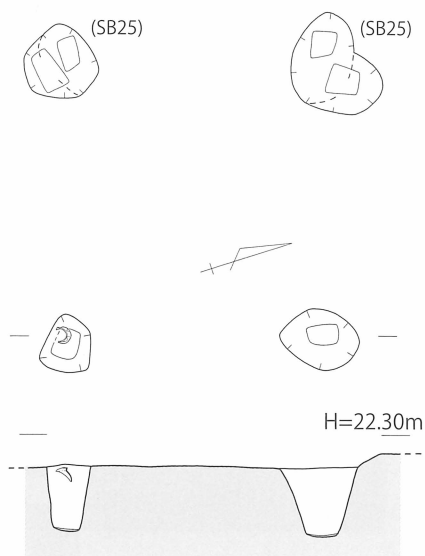
S B 3 2 (第 4 8 図・図版 4)

調査区西側で検出されており、S B 2 7 の西側に位置する。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 3.6 m、東西の桁行長さ 2.5 m、床面積 9.0 m²である。南北の方位は N—41°—W である。

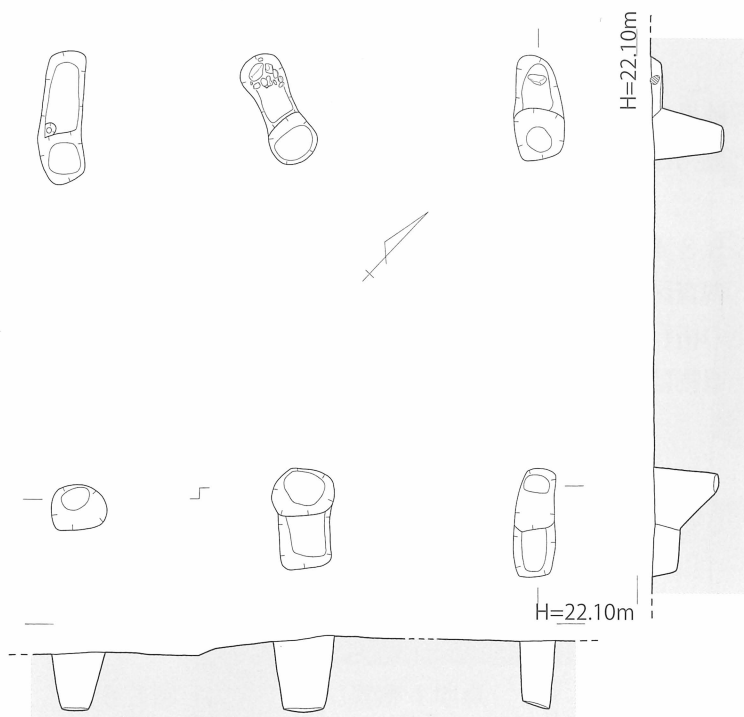
遺物は、出土していない。

S B 3 3 (第 4 9・7 8 図・図版 4)

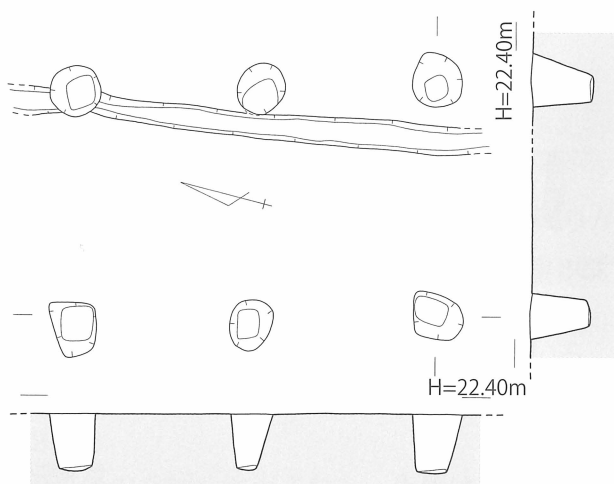
調査区西側で検出されており、S B 3 1 の南側に位置する。規模は 1 間 × 1 間の掘立柱建物である。



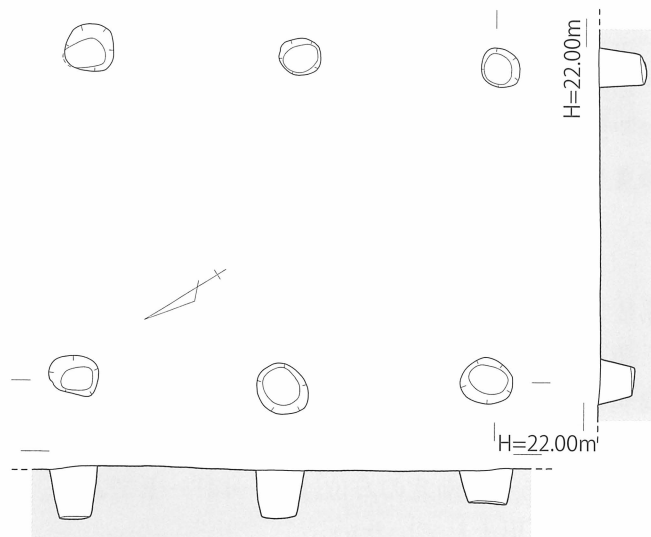
第43図 大坪・前田遺跡4地点
掘立柱建物 (SB25)
実測図 [1/80]



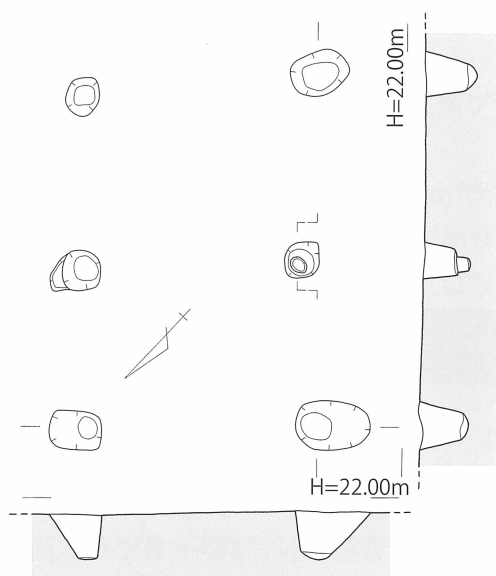
第45図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物
(SB28) 実測図 [1/80]



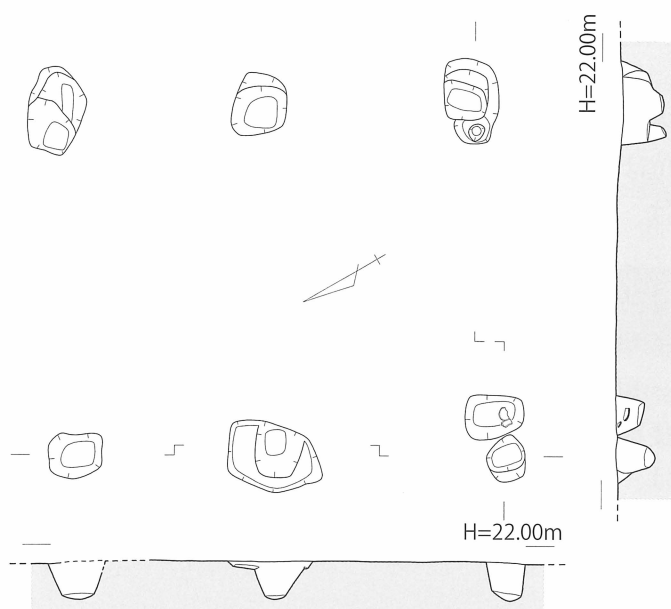
第44図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物
(SB27) 実測図 [1/80]



第46図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物
(SB29) 実測図 [1/80]



第48図 大坪・前田遺跡4地点
掘立柱建物
(SB32) 実測図 [1/80]



第47図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物
(SB31) 実測図 [1/80]

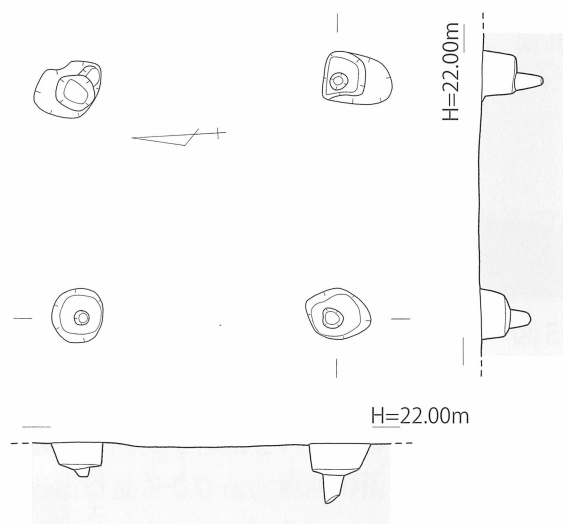
長軸長の桁行長さ 2.6 m、短軸長の桁行長さ 2.5 m、床面積 6.5 m²である。方位はN—0°である。

遺物は弥生式土器の壺・高坏が出土している。

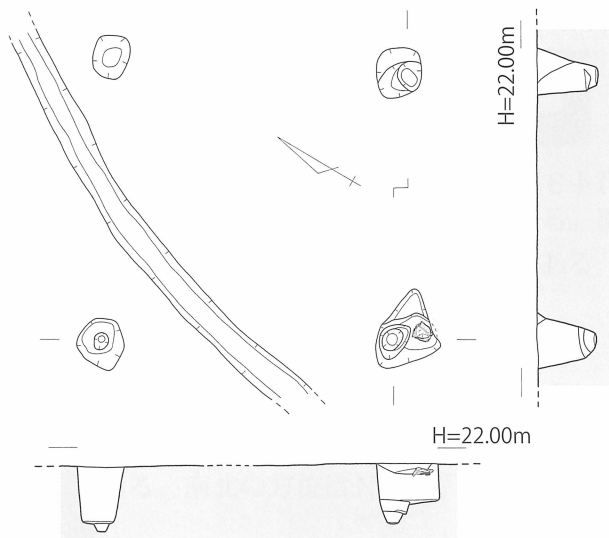
S B 3 4 (第 5 0 図)

調査区西側で検出されており、S B 2 7 の西側に位置する。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 5.0 m、東西の桁行長さ 3.6 m、床面積 8.7 m²である。南北の方位はN—44°—Eである。

遺物は、出土していない。



第 4 9 図 大坪・前田遺跡 4 地点 掘立柱建物
(S B 3 3) 実測図〔1/80〕



第 5 0 図 大坪・前田遺跡 4 地点 掘立柱建物
(S B 3 4) 実測図〔1/80〕

S B 3 5 (第 5 1 ・ 7 8 図・図版 4)

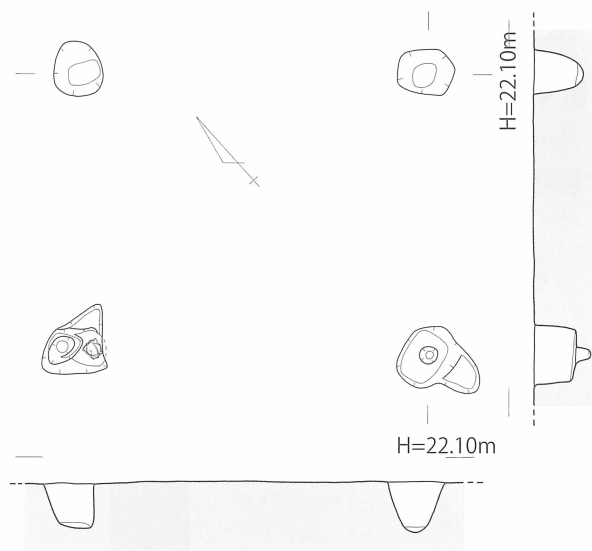
調査区西側で検出されており、S B 2 7 の西側に位置する。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 5.0 m、東西の桁行長さ 3.6 m、床面積 10.8 m²である。南北の方位はN—44°—Eである。

遺物は、出土していない。

S B 3 6 (第 5 2 ・ 図版 4)

調査区西側で検出されており、S B 2 7 の西側に位置する。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 5.0 m、東西の桁行長さ 3.6 mである。南北の方位はN—44°—Eである。

遺物は、甕が出土している。

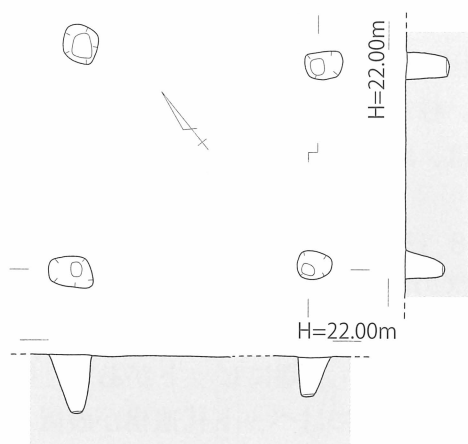


第 5 1 図 大坪・前田遺跡 4 地点 掘立柱建物
(S B 3 5) 実測図〔1/80〕

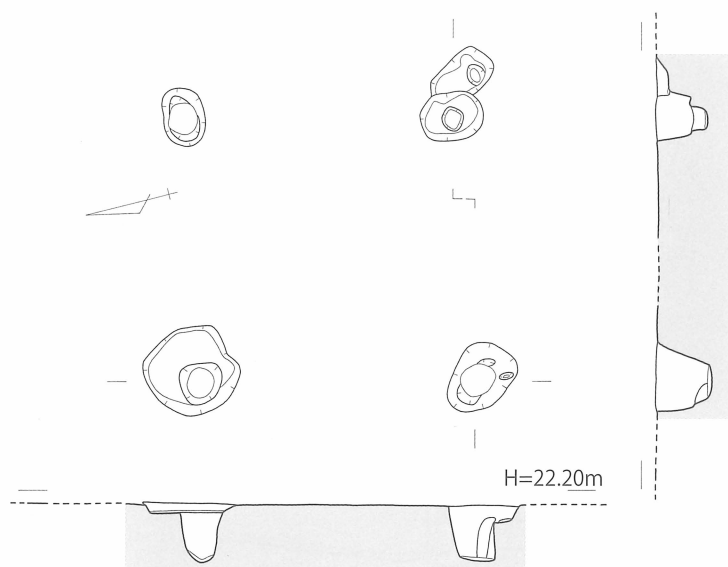
S B 3 9 (第 5 3 ・ 7 9 図)

調査区中央で検出されており、S B 3 8 の西側に位置する。規模は 2 間 × 1 間の掘立柱建物である。南北の桁行長さ 5.0 m、東西の桁行長さ 3.6 m、床面積 5.75 m²である。南北の方位はN—44°—Eである。

遺物は、弥生式土器の壺が出土している。



第52図 大坪・前田遺跡4地点 掘立柱建物
(SB 36) 実測図〔1/80〕



第53図 大坪・前田遺跡4地点
掘立柱建物 (SB 39) 実測図〔1/80〕

竪穴住居 (SB)

SB 13 (第78図)

調査区の北側で検出された。遺構北側は残りが悪い。平面プランは長方形であるが長軸長は5.5 mで短軸長は5.2 mとである。残存高は2 cm～10 cmである。方位はN-27°-Eである。SX 01、02と切り合っている。

遺物は、弥生式土器の壺・甕が出土している。

SB 16

調査区の北側で検出された。南側は攪乱で遺構の大半を切られているため平面プランは不明である。南北長は1.8 m、東西長は5.2 mである。方位は不明である。

遺物は、出土していない。

SB 17 (第54・78図・図版3)

調査区の北側で検出された。平面プランは長方形である。

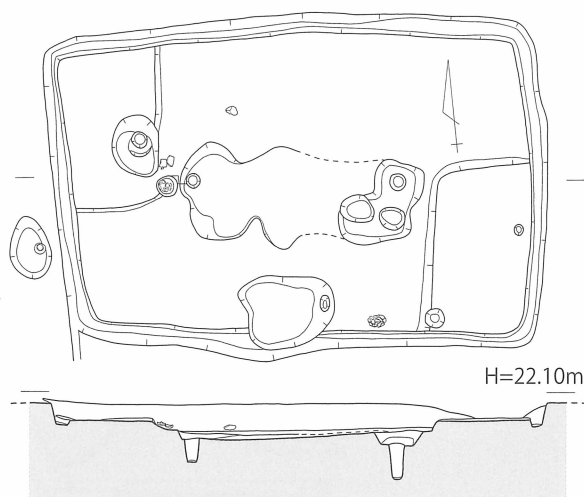
長軸長は5.2 m、短軸長は3.55 mである。残存高は28 cmである。遺構内の壁面に溝があり、ベッド状遺構を持つ。柱穴は2本である。方位はN-85°-Eである。

遺物は、弥生式土器の壺・甕が出土している。

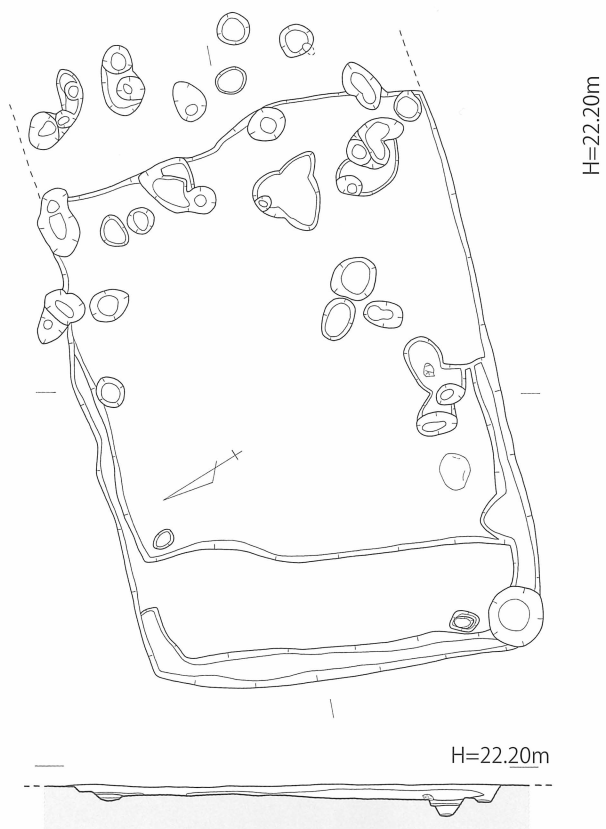
SB 20

調査区の北側に位置する。遺構の北側を攪乱に切られ平面プランは不明である。残存南北長1.95 m、東西長6.45 mで残存高は4 cmである。方位は不明である。

遺物は、出土していない。



第54図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居
(SB 17) 実測図〔1/80〕



SB21

調査区の北側に位置する。残りが悪く柱穴のみ検出。柱穴は2本柱。

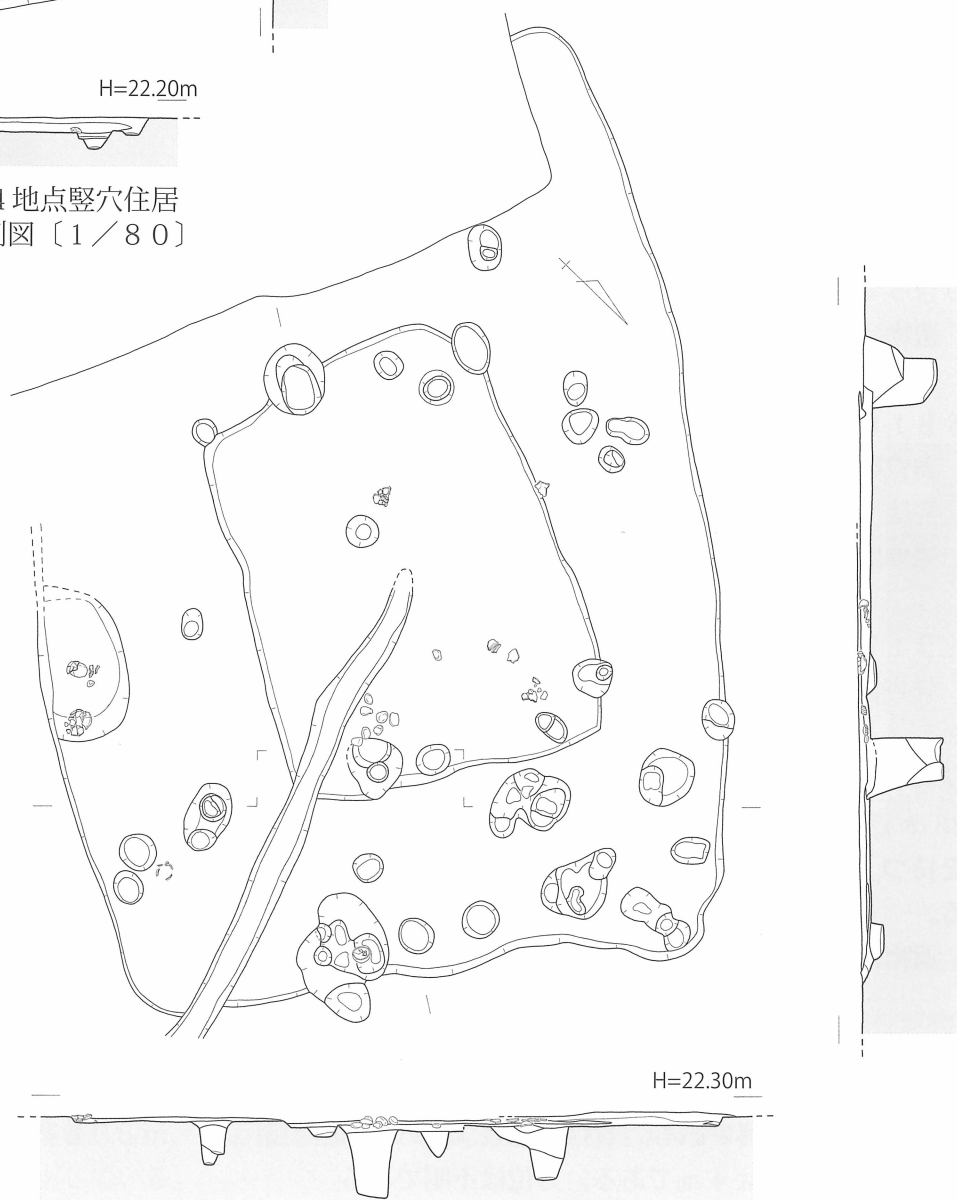
遺物は、出土していない。

SB38 (第55・79図・図版4)

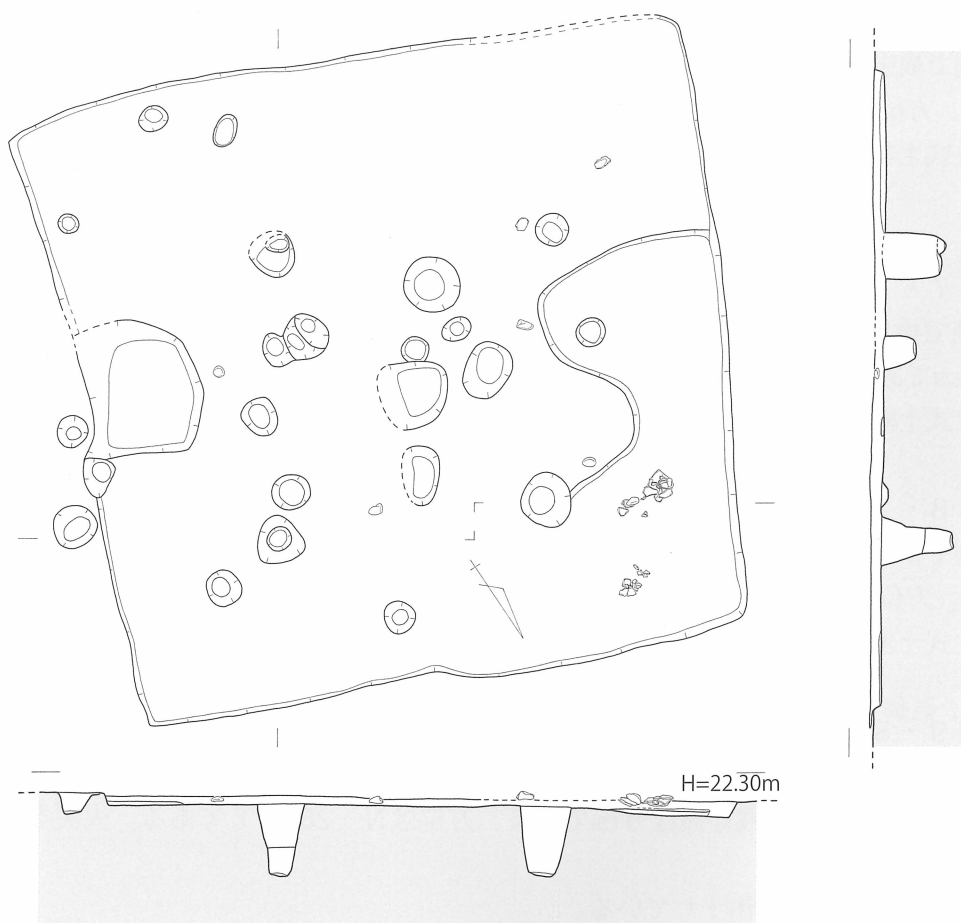
調査区のほぼ中央に位置する。平面プランは長方形で長軸長6.1m、短軸長4.4mで残存高は10cmである。4隅にピットがあり、壁面に溝を持つ。西側にはベッド状遺構が設置されている。方位はN-69°-Eである。柱穴を持たない。

遺物は、弥生式土器の高環が出土している。

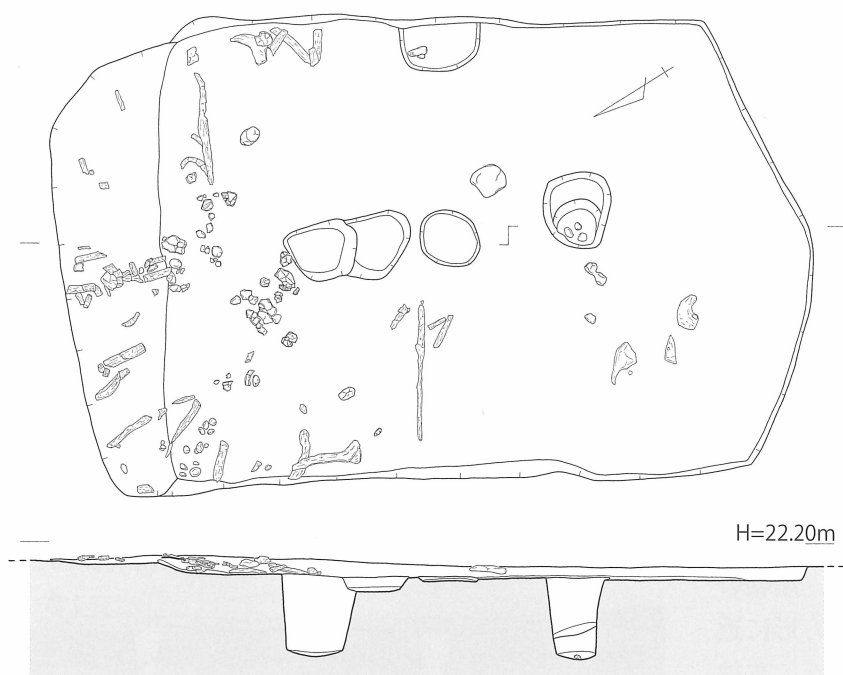
第55図 大坪・前田遺跡4地点竪穴住居
(SB38) 実測図 [1/80]



第56図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居
(SB40) 実測図 [1/80]



第57図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居
(SB 41) 実測図〔1/80〕



第58図 大坪・前田遺跡4地点竪穴住居
(SB 42) 実測図〔1/80〕

S B 4 0 (第 5 6 ・ 7 9 ・ 8 2 図 ・ 図版 4)

調査区の南側で検出された。平面プランは長方形である。長軸長 10m、短軸長 7.25 m で残存高は 5 cm ～ 17 cm である。方位は N-38°-E である。柱穴は 2 本柱。

遺物は、弥生式土器の壺・甕、陶質土器のこね鉢などが出土しており、石器では片岩製の石包丁が出土している。

S B 4 1 (第 5 7 ・ 7 9 図 ・ 図版 4 ・ 5)

調査区の南側で検出された。平面プランは正方形である。S B 4 0 を切る。長軸長 7m、短軸長 6.7 m で残存高は 10 cm である。方位は N-64°-E である。S D 14 に切られる。柱穴は 4 本である。

遺物は、弥生式土器の甕・鉢が出土している。

S B 4 2 (第 5 8 ・ 7 9 ・ 8 2 図 ・ 図版 4)

調査区の南側で検出された。平面プランは長方形である。長軸長 7.9m、短軸長 4.8 m で残存高は 10 cm ～ 17 cm である。方位は N-30°-E である。火災を受けている。柱穴は 2 本。

遺物は、弥生式土器の壺・甕が出土している。

S B 4 3 (第 5 9 ・ 8 0 図 ・ 図版 4)

調査区の南側で検出された。S B 4 2 の東側に位置し、同遺跡を切る。平面プランは正方形である。長軸長 7.25 cm、短軸長 7.2 m で残存高は 5 cm である。方位は N-28°-E である。火災を受けている。柱穴は 4 本。

遺物は弥生式土器の壺・鉢が出土している。

土壇 (S K)

4 地点からは大小 20 基の土壇が見つかった。

S K 0 6 (第 6 0 図 ・ 図版 2)

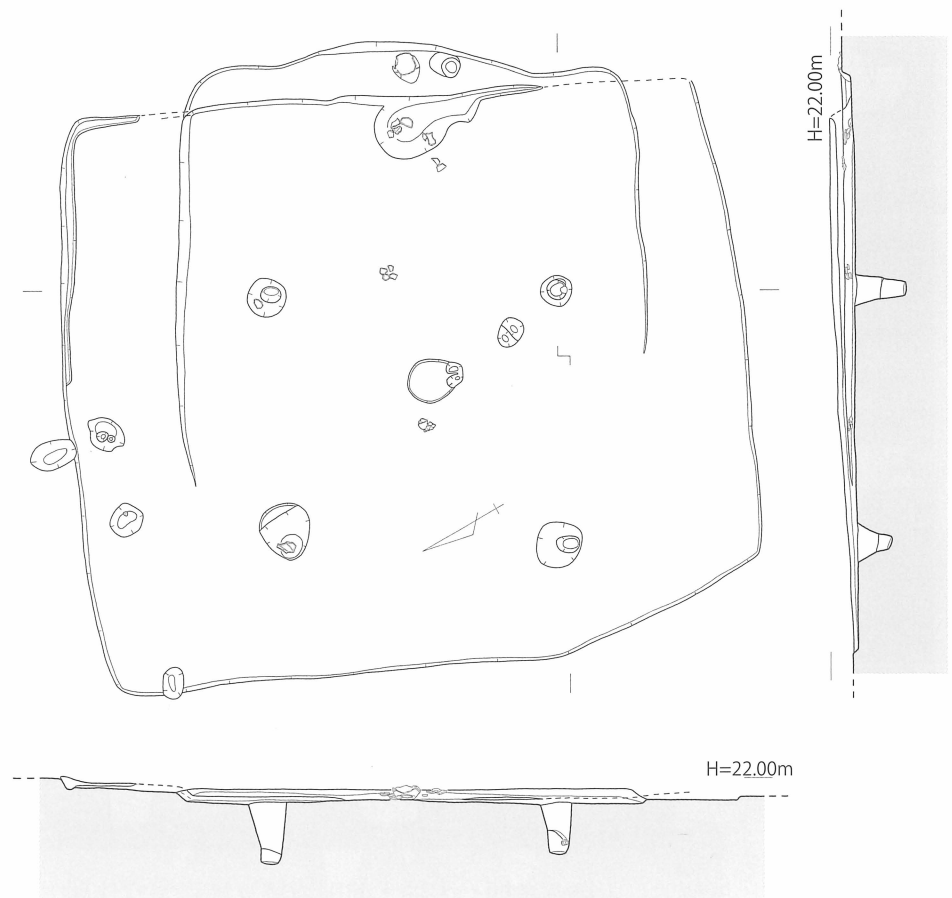
調査区東側に位置し、東側は 1 地点に隣接する。平面プランは長方形である。長軸の長さは 132 cm、短軸長は 98 cm で残存高は 60 cm である。方位は N-58°-E である。

遺物は、出土していない。

S K 0 7 (第 8 0 図)

調査区北側に位置する。平面プランは不整形である。長軸の長さは 240 cm、短軸の長さは 230 cm でやや方形に近い。残存高は 12 cm で、方位は N-40°-E である。

遺物は、高台付の瓦器碗の底部が出土している。



第 5 9 図 大坪・前田遺跡 4 地点 竪穴住居 (S B 4 3) 実測図
[1/80]

S K 0 8 (第 6 1 図)

調査区北側に位置する。平面プランは長方形で、長軸 210 c m、短軸 118 c mで、残存高は 5 c m～ 10 c mである。方位はN—61°—Wである。

遺物は、出土していない。

S K 0 9 (第 8 0 図)

調査区北側に位置し S K 08 の西側に隣接する。平面プランは不整方形で南北長 185 c m、東西長 120 c m～ 185 c mで残存高は 10 c mである。方位は不明である。

遺物は、内黒土器が出土している。

S K 1 0

調査区北側に位置する。北側部分が削平され残りが悪い。平面プランは不整形である。残存する長軸長 225 c m、短軸長 76 c mで残存高は 9 c mである。方位はN—6°—Eである。

遺物は、出土していない。

S K 1 1 (第 6 2 図)

調査区の北側に位置する。東側には S K 10 が隣接する。平面プランは楕円形で長軸長 155 c m、短軸長 40 c mである。残存高は 30 c mである。方位はN—11°—Eである。

遺物は、出土していない。

S K 1 2 (第 8 0 図)

調査区の北西に位置し、S B 2 8 と切りあう。平面プランは楕円形である。残存長軸長は 1.72 c m、短軸長は 90 c mで残存高は 27 c mである。方位はN—68°—Wである。

遺物は、土師器の坏、壺、甕、鉢が出土している。

S K 1 3

調査区の西側に位置し、東側には S K 09 がある。遺構の南側は攪乱に切られており平面プランは不明である。残存長軸長は 110 c m、短軸長は 50 c mで残存高は 13 c mである。方位はN—32°—Eである。

遺物は、出土していない。

S K 1 4 (第 6 3 図)

調査区の南側にあり、S B 38 の南側に位置する。平面プランは不整楕円形である。長軸長は 146 c m、短軸長は 82 c mである。残存高は 23 c mである。方位はN—21°—Eである。

遺物は、出土していない。

S K 1 5 (第 6 4 図)

調査区の南側にあり、S K 14 の南西に位置する。平面プランは隅丸長方形で長軸長 130 c m、短軸長 82 c m、残存高 20 c mである。方位はN—49°—Eである。

遺物は、出土していない。

S K 1 6 (第 6 5 図)

調査区の南側に位置する。平面プランは不整楕円形で長軸長 2.12 m、短軸長 30 ～ 95 c m、残存高 9 ～ 22 c mである。方位はN—51°—Wである。

遺物は、出土していない。

S K 1 7 (第 6 6 図)

調査区の中央に位置する。平面プランは不整形で長軸長 1.94 m、短軸長 75 cm、残存高 10 cmである。方位はN—58°—Wである。

遺物は、出土していない。

S K 1 8 (第 6 7 図)

調査区の南側に位置する。平面プランは楕円形で長軸長 1.4 m、短軸長 90 cm、残存高 41 cmである。方位はN—8°—Wである。

遺物は、出土していない。

S K 1 9 (第 6 8 図)

調査区の南側に位置する。平面プランは楕円形で長軸長 1.45 m、短軸長 125 cm、残存高 22 cmである。方位はN—20°—Eである。

遺物は、出土していない。

S K 2 0 (第 6 9 図)

調査区の東側に位置する。平面プランは不整形で長軸長 1.4 m、短軸長 115 cm、残存高 8 ～ 93 cmである。方位はN—47°—Eである。

遺物は、出土していない。

S K 2 1 (第 7 0 図)

調査区の北側に位置する。平面プランは不整形で南北長 1.25 m、東西長 104 cm、残存高 10 cmである。方位は不明である。

遺物は、出土していない。

S K 2 2 (第 7 1 図)

調査区の北側に位置する。平面プランは不整形で長軸長 1.2 m、短軸長 95 cm、残存高 16 cmである。方位はN—84°—Wである。

遺物は、出土していない。

S K 2 3 (第 7 2 ・ 8 0 図)

調査区の北側に位置する。平面プランは楕円形で長軸長 0.95 m、短軸長 50 cm、残存高 18 cmである。方位はN—6°—Eである。

遺物は、底部が糸切の土師器の坏が出土している。

S K 2 4

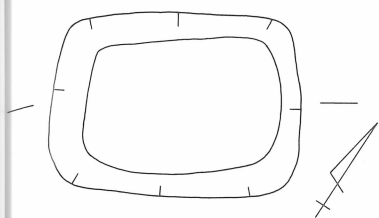
調査区の西側に位置する。平面プランは不整形で長軸長 2.5 ～ 2.95 m、短軸長 25 cm、残存高 56 cmである。方位はN—51°—Eである。

遺物は、出土していない。

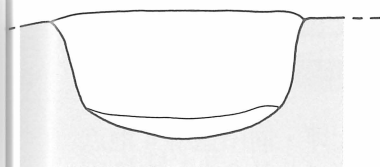
S K 2 5 (第 7 3 図)

調査区の西側に位置する。平面プランは隅丸長方形で長軸長 1.55 m、短軸長 60 cm、残存高 7 cmである。方位はN—24°—Wである。

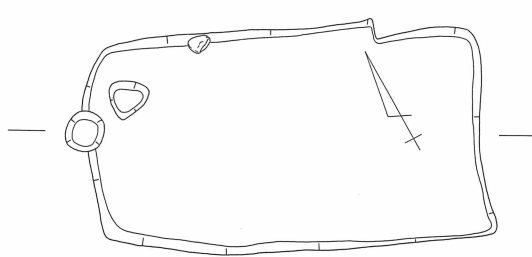
遺物は出土していない。



H=22.15m



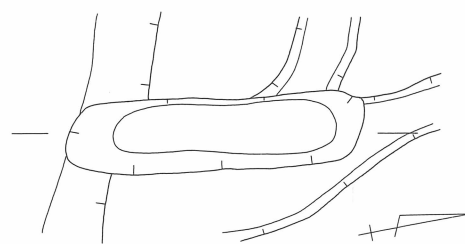
第60図 大坪・前田遺跡4地点
土壙 (SK06) 実測図
[1/40]



H=22.15m



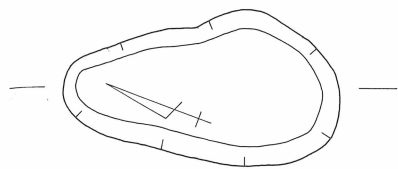
第61図 大坪・前田遺跡4地点
土壙 (SK08) 実測図 [1/40]



H=22.15m



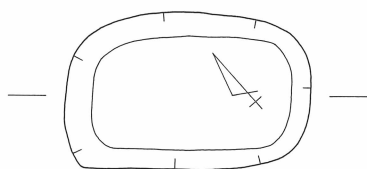
第62図 大坪・前田遺跡4地点
土壙 (SK11) 実測図 [1/40]



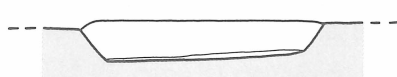
H=22.20m



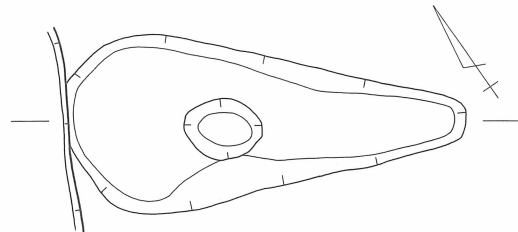
第63図 大坪・前田遺跡4地点
土壙 (SK14) 実測図
[1/40]



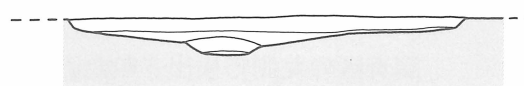
H=22.20m



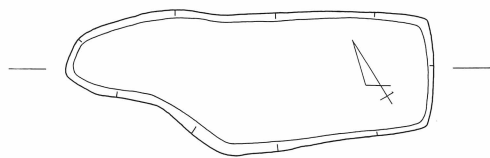
第64図 大坪・前田遺跡4地点
土壙 (SK15) 実測図
[1/40]



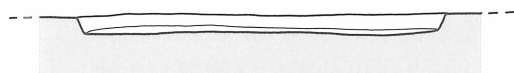
H=22.30m



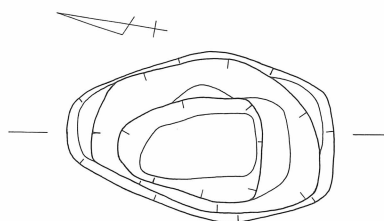
第65図 大坪・前田遺跡4地点土壙
(SK16) 実測図
[1/40]



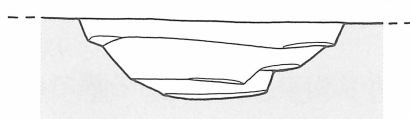
H=22.20m



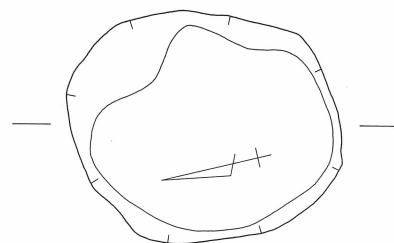
第66図 大坪・前田遺跡4地点
土壙 (SK17) 実測図
[1/40]



H=22.20m



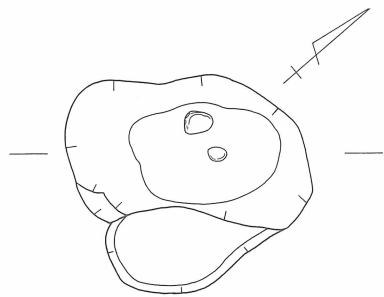
第67図 大坪・前田遺跡4地点
土壙 (SK18) 実測図
[1/40]



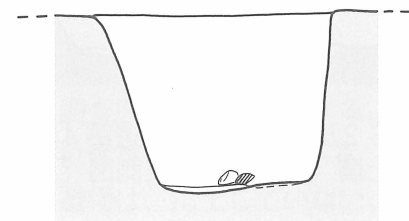
H=22.20m



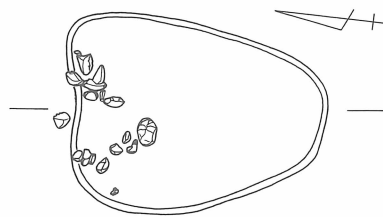
第68図 大坪・前田遺跡4地点
土壙 (SK19) 実測図
[1/40]



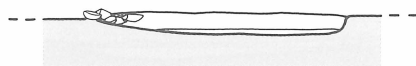
H=22.20m



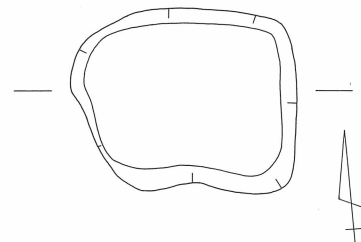
第69図 大坪・前田遺跡4地点
土壙(SK20)実測図
[1/40]



H=22.20m



第70図 大坪・前田遺跡4地点
土壙(SK21)実測図[1/40]



H=22.20m



第71図 大坪・前田遺跡4地点
土壙(SK22)実測図
[1/40]

SD(溝)

4地点からは8条の溝が検出されている。東西方向のもの、南北方向のもの、北西から南東方向のものが見られ、中には「く」の字に折れ曲がるものも見られた。弥生時代後期の溝が中心であるが一部歴史時代のものも含まれる。遺構の多くは遺物が出土しておらず時期が確定できていない。

SD10

調査区の北側で検出された。SD10の中央付近から分岐している南北方向の溝で、南側は攪乱に切られる。検出長は3.5m、幅75cm、残存高14cm～20cmである。

遺物は、出土していない。

SD11

調査区の北側で検出された。北東から南西に延び、南西の途中から西側に「く」の字に折れる。検出長は17m、幅40cm、残存高9cm～21cmである。

遺物は、出土していない。

SD12(図版3・5)

調査区の西側で検出された。北西から南西方向に延びているが南側は「U」字型に湾曲し途切れている。検出長は12mで幅は25cm～50cmである。

遺物は、出土していない。

SD13

調査区の中程で検出された。北西から南東方向に延びる溝である。検出長は15.8m、幅は40cm～55cmである。残存高は11cm～20cm。

遺物は出土していない。

S D 1 4

調査区の南側で検出された。東西にまっすぐ延びる溝である。S B 41・42 を切る。残存高は 26.2 cm、幅 30 cm～50 cm、残存高 12 cm～20 cm である。

遺物は、出土していない。

S D 1 5

調査区の西側で検出された。北東から「く」の字に折れ曲がり、南側に再び「く」の字に折れ曲がり、また南東にカーブしている。S B 4 2 に切られ、S D 14 に切られているので 3 者の中では最も古い。検出長 31.8 m、幅 25 cm～65 cm、残存高 5 cm～32 cm である。

遺物は、出土していない。

S D 1 6

調査区の北西から南東に流れる。検出長は 58.2 m、幅 30 cm～70 cm。残存高は 5 cm～18 cm。本遺跡より以西は遺構が検出されておらず集落の端である可能性が高い。

遺物は、出土していない。

不明遺構 (S X)

不明遺構は 3 基検出しておりいずれも 4 地点からの検出である。しかも調査区の西側にあり、S X 01・02 は近接しているが切り合いは見られない。S X 03 のみがやや離れた区域から見つかっている。いずれも全周している。また、S X 01 は 5 号掘立柱建物、S D 11 から切られている。S X 01・03 から弥生時代後期の土器が出土している。

S X 0 1 (第 7 4・8 1 図・図版 5)

調査区北側で検出された円形周溝状遺構である。外径は 9.15 m～10.75 m、内径は 7.5 m～8.95 m であった。周溝の幅は 85 cm で残存高は 22 cm～31 cm である。掘立柱建物の S B 15、S D 11 に切られる。また、遺構内の南側に規模 2×1 で南北棟の S B 14 があるが、本遺構との関連性については不明である。

遺物は、弥生式土器の壺・甕・高坏・鉢で、特に高杯の脚部には穿孔が 5 カ所設けられている。

S X 0 2 (図版 5)

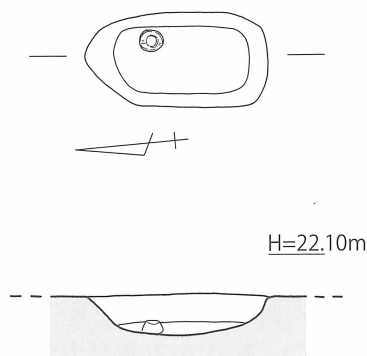
調査区北側で検出され S X 0 1 の南側に位置する。南側は攪乱に切られており全体の規模は不明であるが、円形周溝状遺構と思われる。外径は 3.76 m～5.7 m、内径は 2.75 m～4.75 m で規模は S X 0 1 より小型である。周溝の幅は 50 cm で残存高は 15 cm～22 cm である。周溝の内側に遺構の痕跡は確認できていない。S B 13 と S D 11 とに切り合いが見られる。

遺物は、出土していない。

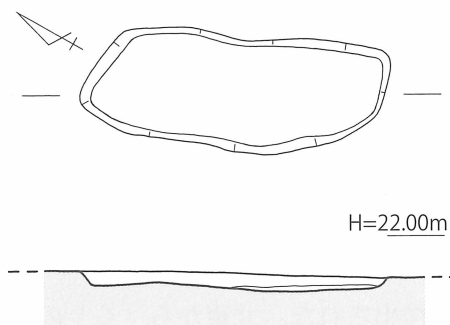
S X 0 3 (第 7 5・8 1・8 2 図・図版 5)

調査区西側で検出された円形周溝状遺構。外径は 4.0 m～4.2 m、内径は 2.85 m～2.95 m であった。周溝の幅は 60 cm で残存高は 26 cm である。断面は逆台形型で底面は平坦である。土層の観察によれば、埋土は周溝の内側から流れ込んだ痕跡があり、自然に埋まったものと思われる。規模は S X 0 2 と同じである。内側に遺構の痕跡は確認できていない。

遺物は、土器は弥生式土器の壺・無頸壺・甕・高坏・鉢など多く出土した。石器は片岩製の石包丁が出土している。



第72図 大坪・前田遺跡4地点
土壇 (SK23) 実測図



第73図 大坪・前田遺跡4地点 土壇
(SK25) 実測図 [1/40]

歴史時代の遺構と遺物

SK12 (第76・80図・図版3)

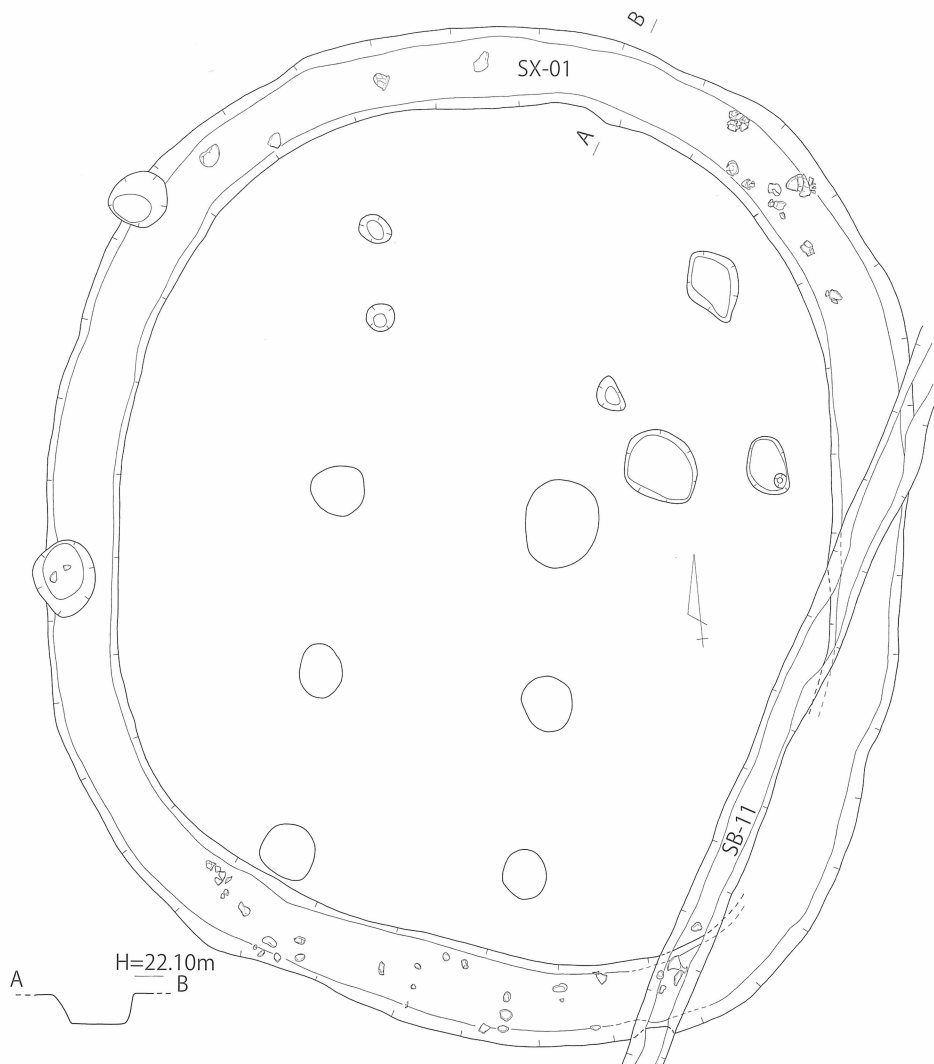
調査区の北西に位置する。平面プランは楕円形である。SB28掘立柱建物と重複するが切り合いは無く本遺構が新しいと思われる。

遺物は、底部にヘラ切り痕がある土師器の坏や甕が出土している。

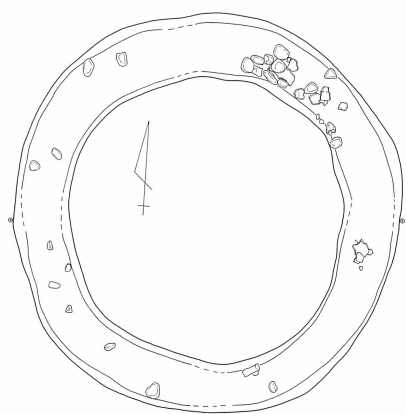
SD09 (図版4)

調査区の北側で検出された。東西方向にほぼ直線に流れる。本遺構の東側は1地点に隣接しているが1地点において検出されていない。西側は途切れている。検出長は91.9mで幅は50cm～90cm、残存高は3cm～24cmである。「大坪」「前田」の小字境とほぼ並行しており、条里の坪境の溝とも考えられる。

遺物は、出土していない。

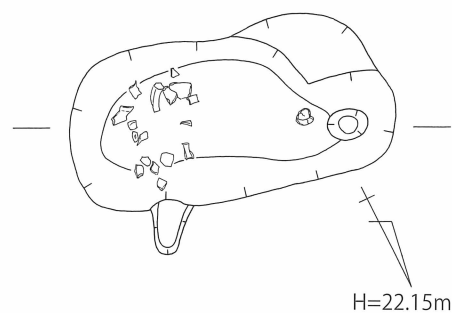


第74図 大坪・前田遺跡4地点 不明遺構
(SX01) 実測図 [1/80]

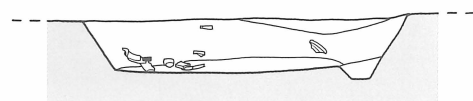


- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 黒褐色土 | 5. 暗黒色土 |
| 2. 黒褐色土 (茶褐色粘土混じり) | 6. 暗黒色土 (炭化物混じり) |
| 3. 黄灰色土 (粘土混じり) | 7. 暗茶褐色土 |
| 4. 暗黒褐色土 | |

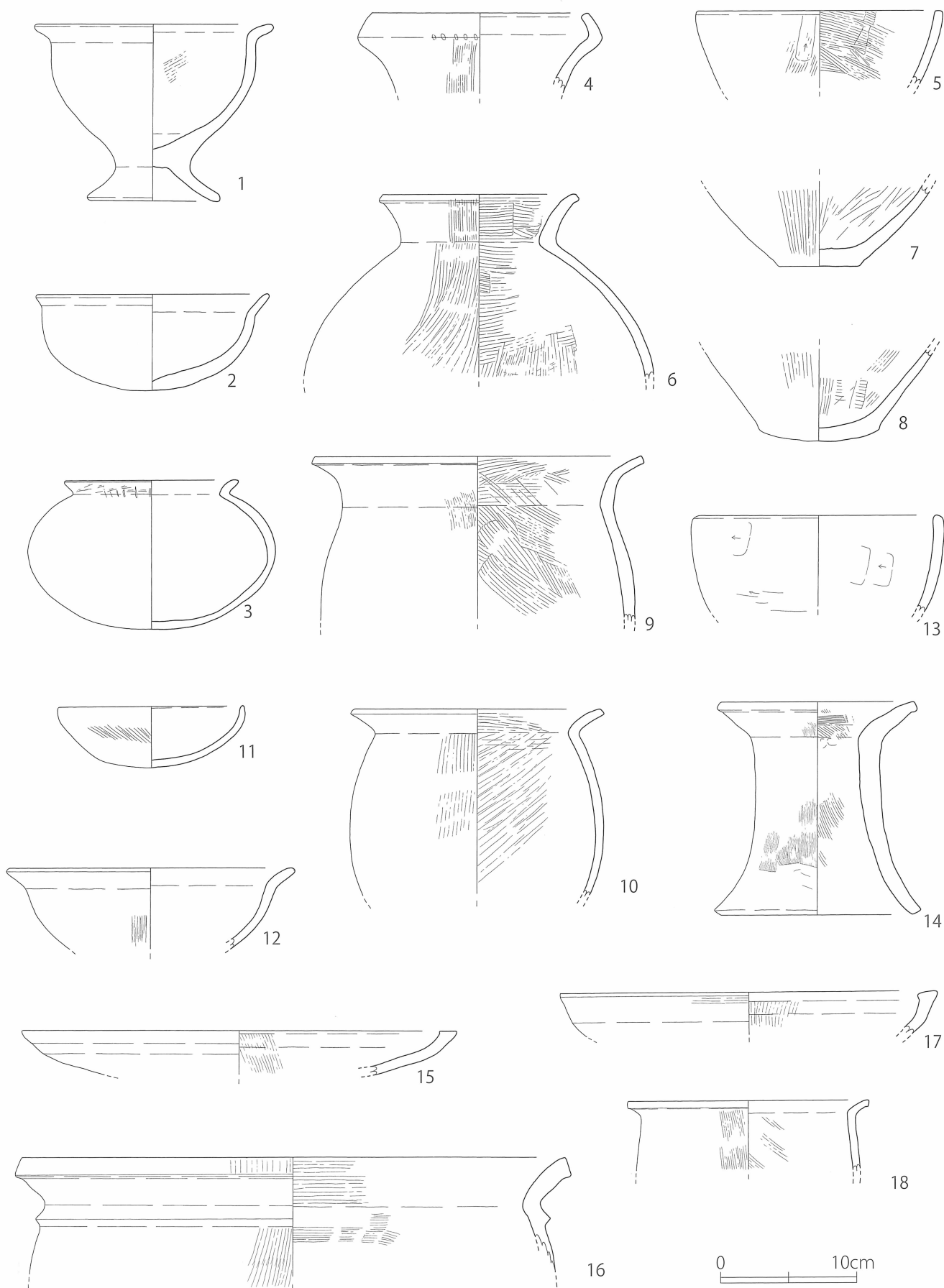
第75図 大坪・前田遺跡4地点 不明遺構
(SX03) 実測図 [1/80]



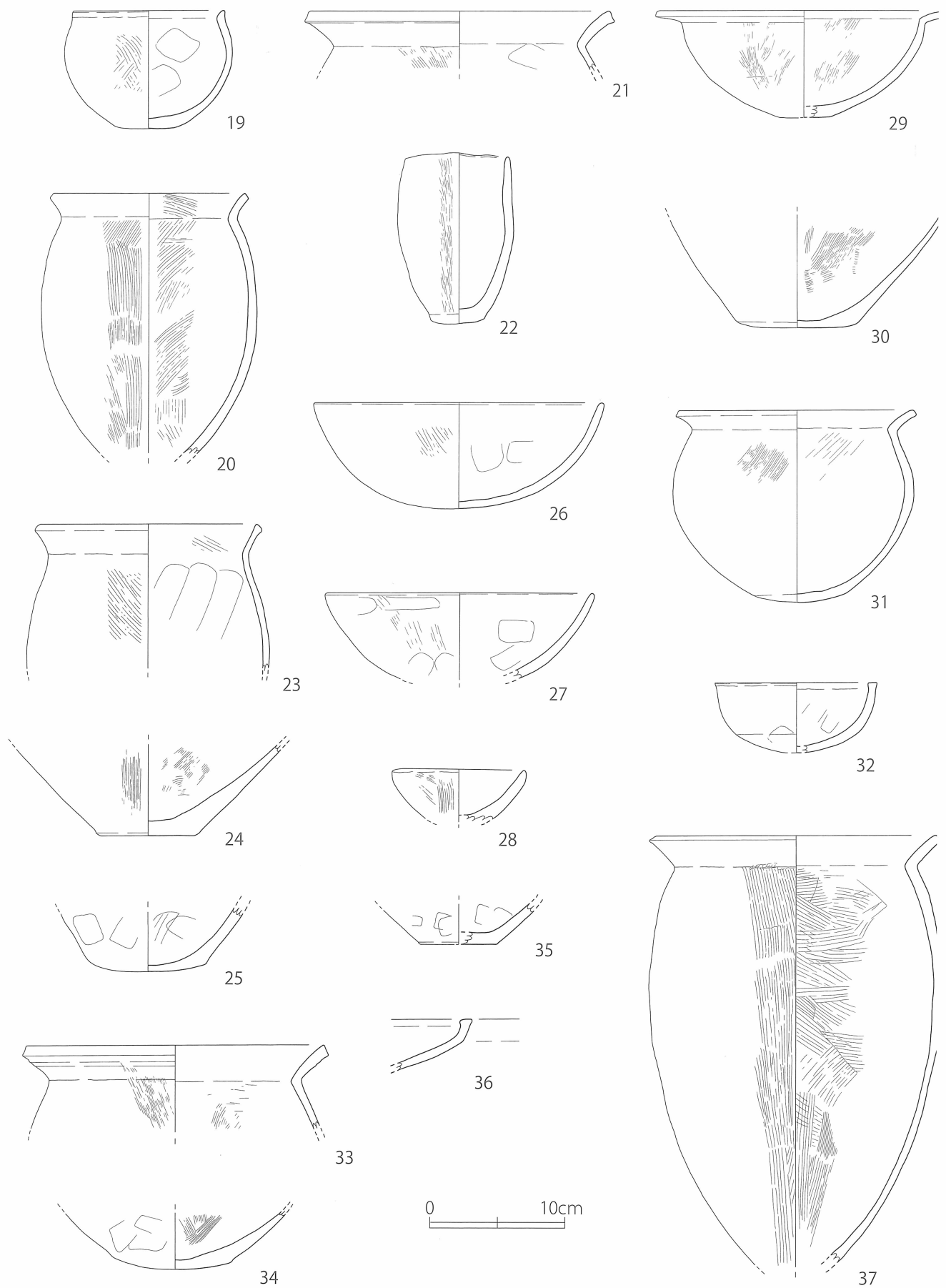
H=22.15m



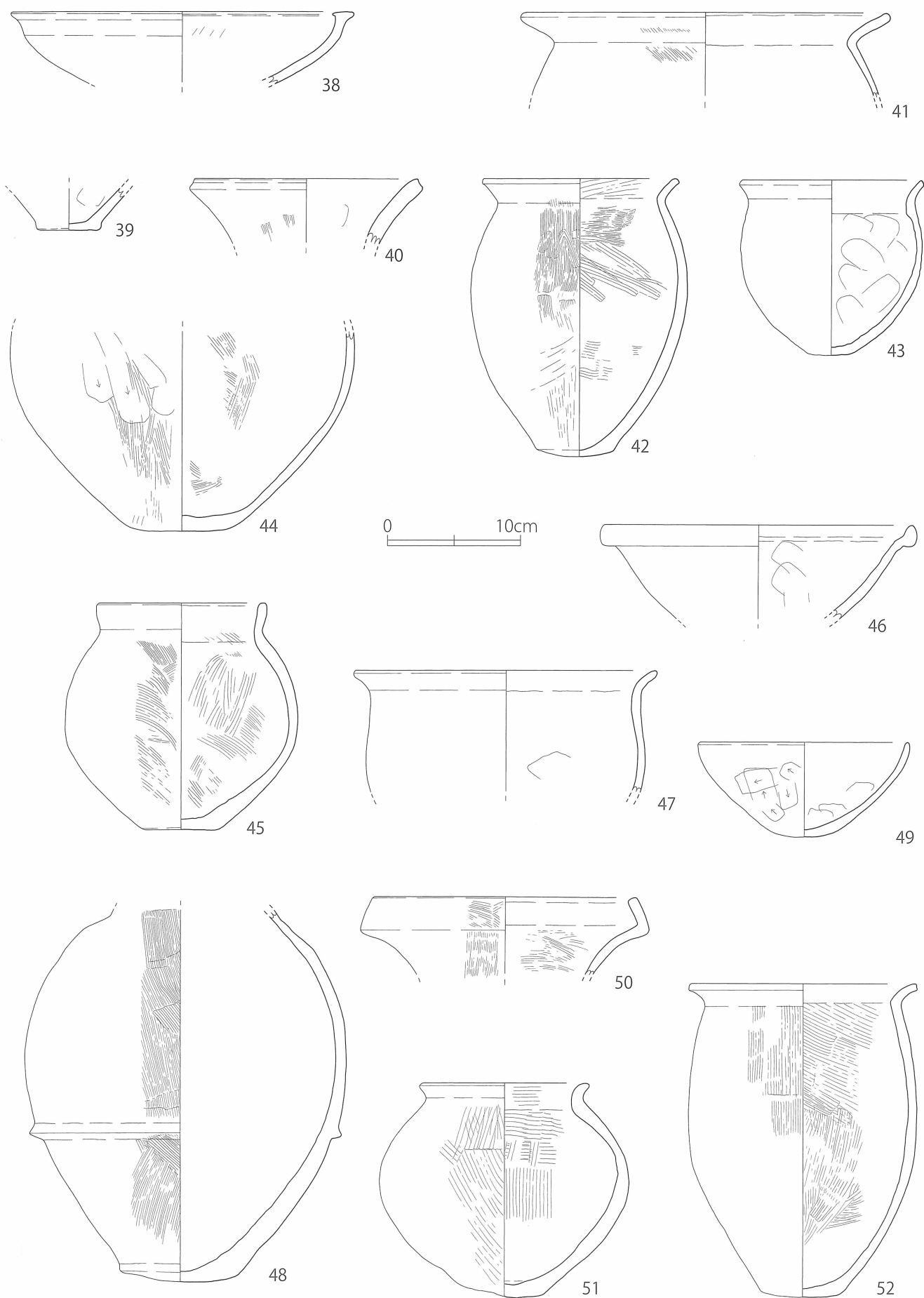
第76図 大坪・前田遺跡4地点
土壇 (SK12) 実測図
[1/40]



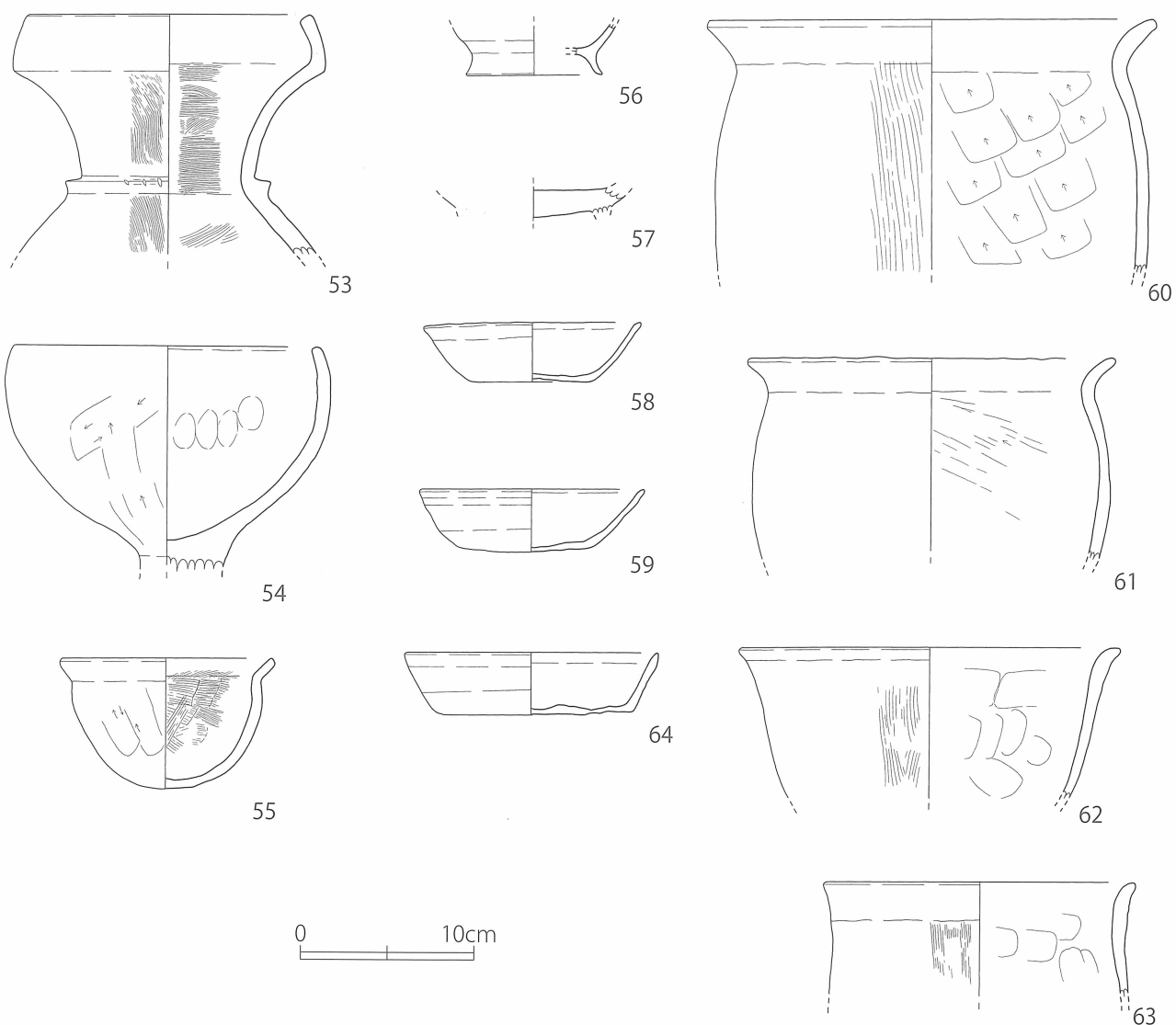
第77図 大坪・前田遺跡1地点 掘立柱建物(SB03)、2地点 土壇(SK01)・溝(SD02・03)出土土器実測図〔1/4〕



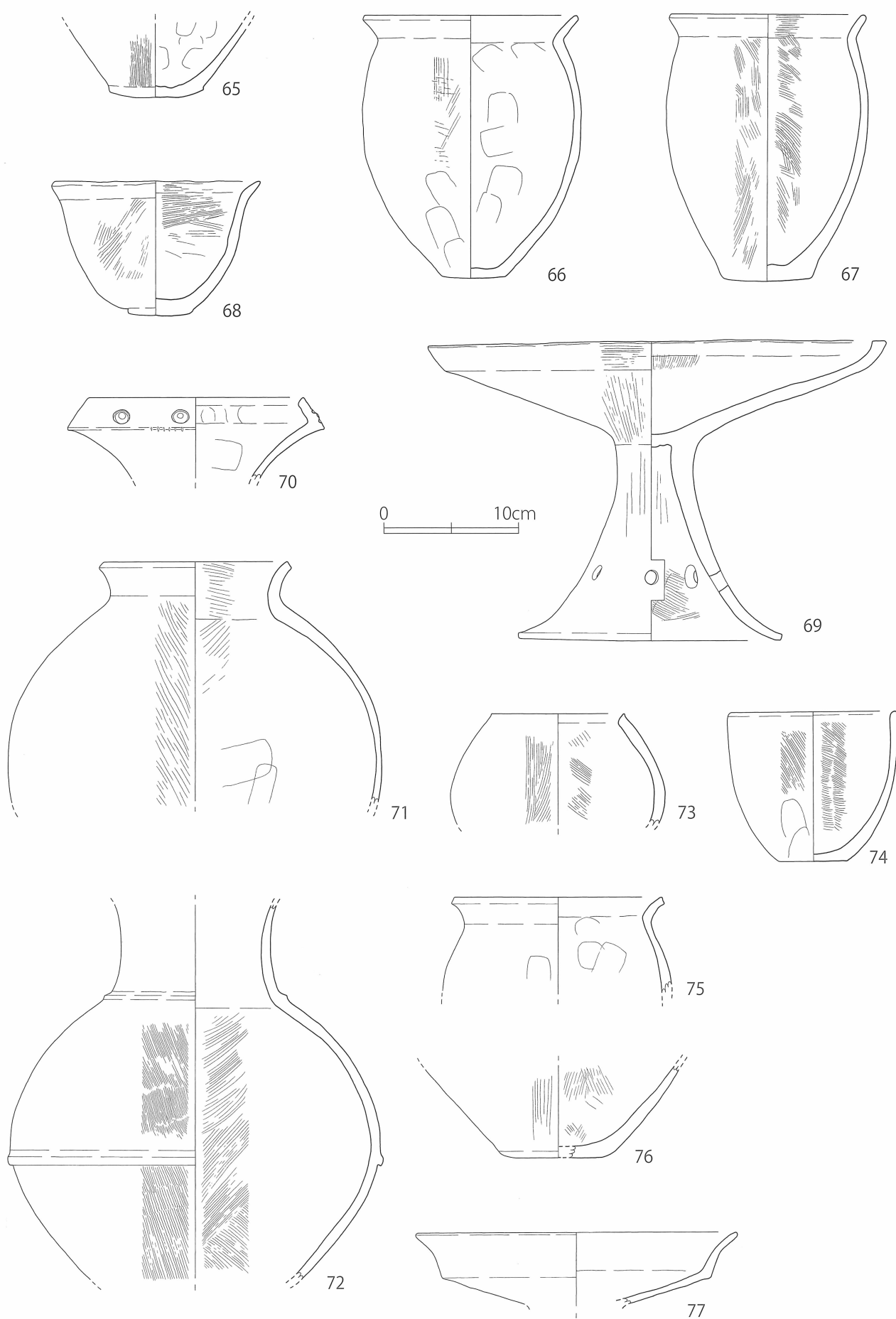
第78図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居（SB13・17・23・24・31・33・35）
出土土器実測図〔1／4〕



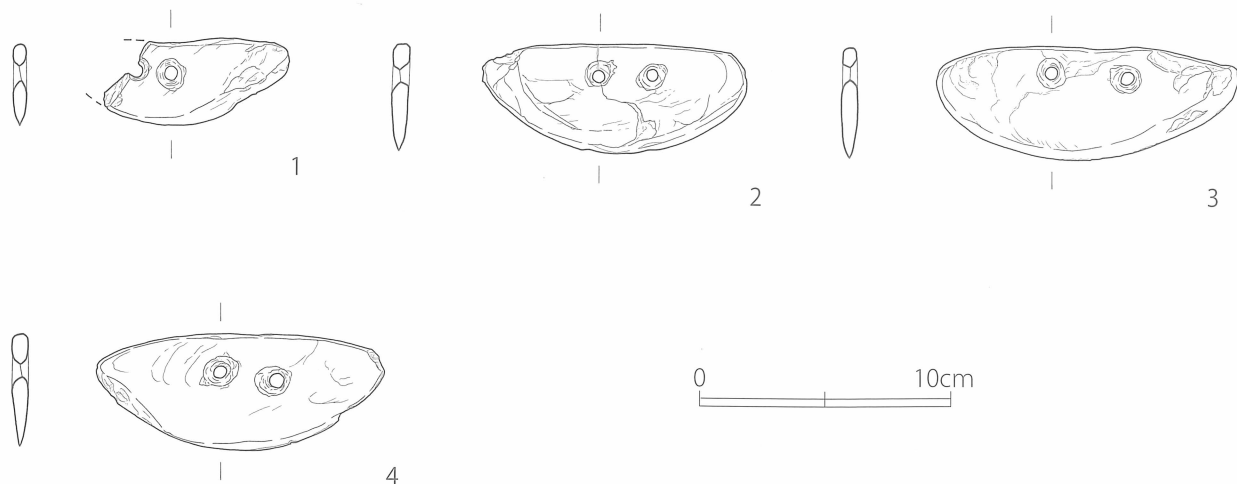
第79図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居（SB38～42）出土土器実測図〔1／4〕



第80図 大坪・前田遺跡4地点 竪穴住居（SB43）、SK（07・09・12・23）
出土土器実測図〔1／4〕



第81図 大坪・前田遺跡4地点 SX(01・03)出土土器実測図〔1/4〕



第82図 大坪・前田遺跡4地点 SB(40・42)、SX(03)出土石製品実測図〔1/3〕

③まとめ

本遺跡は八女市国武字大坪、字前田に所在する。八女市国武は、花宗川の左岸の平地に位置し、戦国期の武将山下城城主蒲池鑑広の三男中野大膳の館跡があり、『筑後国史』によれば庄屋の中野氏はその子孫と伝えられる。また、『寛延記』によれば中世の禅宗大光寺密乗院跡があったとのことである。その他南側には縄文時代末の遺跡が発見されている。

発掘調査により本遺跡は、弥生時代後期の集落で一部中世の遺構もあることがわかっている。竪穴住居は14軒検出されており、調査区のほぼ中央に集中して見つかった。検出プランは方形、または長方形で柱穴は無柱、4本柱、2本柱がある。出土遺物は弥生後期の土器が出土している。

また、遺構の中では掘立柱建物が多く28棟が検出されており竪穴住居を囲むように分布している。建物の規模は、1×1間と2×1間があり、高床住居あるいは高床倉庫と考えられ弥生後期の土器が見つかった。柱穴の掘り方は方形のものが多くみられた。その他、調査区の北側から円形周溝が3基集中して検出されている。溝内からは、弥生後期の丹塗りの壺や高杯などの完形品が出土しており、明らかに日常的な空間ではなかったと思われる。

中世の遺構については、土壌から10世紀代の土師器や内黒土器が出土している。また、溝の中には字大坪、字前田の小字境とほぼ並行しており、条里の坪境の溝とも考えられる。

挿図 番号	遺物 番号	実測 番号	出土 遺構	器 種	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼 成	調 整		備 考
											外 面	内 面	
第 77 図	1	162	SB03	高台付鉢 (1/2)	17.60	9.75	12.90	砂粒を多く含む (赤色粒子混入)	淡黄茶黒褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	内面に黒斑有り
"	2	159	"	鉢 (3/4)	17.00		7.00	砂粒を多く含む (赤色粒子混入)	淡暗黒褐色	普通	ナデ	ヨコナデ	黒斑有り
"	3	172	"	壺	12.80		10.85	1～2mm大の小石及び砂粒を含む (赤色粒子混入)	黄茶黒褐色	普通	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ、ナデ	口縁部に煤付着、黒斑有り
"	4	144	SK01	壺 (口縁部片)	16.00			1～3mm大の小石及び砂粒を多く含む	淡黄褐色	普通	ハケ目	不明	
"	5	145	"	鉢 (口縁部片)	18.00			1～2mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄暗褐色	普通	ハケ目	ハケ目	
"	6	133	SD02	壺 (口縁部・胴上半部片)	14.20			1～4mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄茶褐色	普通	ハケ目	ハケ目	
"	7	141	"	甕 (底部片)		5.80		1～5mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄暗褐色	普通	ハケ目	ハケ目	黒斑有り
"	8	136	"	甕 (底部片)		8.80		砂粒を多く含む	淡黒灰色	普通	ハケ目後ナデ	ハケ目	
"	9	137	"	甕 (口縁部片)	24.00			砂粒を多く含む	淡黄暗灰褐色	普通	ナデ	ハケ目	
"	10	147	"	甕 (口縁部・胴上半部片)	18.00			1～4mm大の小石及び砂粒を多く含む (赤粒子混入)	淡黄暗茶褐色	やや不良	上部ハケ目・下部ヘラ削り後ナデ	ハケ目	
"	11	128	"	坏 (1/2)	13.50			1～2mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄赤茶褐色	普通	ハケ目	ナデ	黒斑有り
"	12	140	"	鉢 (口縁部片)	20.90			1～2mm大の小石混入 (赤粒子混入)	淡黄灰褐色	普通	ハケ目後ナデ	ナデ	黒斑有り
"	13	139	"	鉢 (口縁部片)	17.20			砂粒を含む	淡黄茶灰褐色	普通	ヘラ削り	ヘラ削り	黒斑有り
"	14	171	"	器台	14.80	15.20	15.60	1～5mm大の片岩の砂粒を含む	黄茶灰褐色 (黒斑有)	やや良好	ハケ目	ハケ目	
"	15	135	"	高坏 (坏部片)	32.00			1～2mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄暗褐色	普通	ナデ	ハケ目	
"	16	161	"	甕 (口縁部片)	40.00			1～4mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄茶灰褐色	普通	不明	不明	
"	17	154	SD03	高坏 (坏部片)	17.80			1～3mm大の小石及び砂粒を含む (赤粒子混入)	淡灰褐色	普通	ヨコナデ	ハケ目	煤付着
"	18	155	"	甕 (口縁部片)	17.60			1～2mm大の小石及び砂粒を含む (赤粒子混入)	淡黄褐色	普通	ハケ目	ハケ目	
第 78 図	19	31	SB13	壺 (2/5)	11.10		8.70	3mm大の小石及び砂粒を含む	乳明茶褐色	やや不良	ハケ目	ヘラ削り	
"	20	40	"	壺 (1/3)	14.10			1mm大の小石の多く混入、粒子を含む	茶褐色	普通	ハケ目	ハケ目	
"	21	8	"	壺 (口縁部片)	22.10			砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	ハケ目	ヘラ削り	
"	22	13	"	甕 (2/3)				3～12mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄明茶褐色	やや不良	ハケ目	ナデ	一部に黒斑有り
"	23	27	SB17	壺 (口縁部片)	16.00			砂粒を含む	淡黄明茶褐色	普通	ハケ目	ヘラ削り	一部に黒斑有り
"	24	35	"	壺 (底部片)				1～4mm大の小石混入、砂粒を含む	淡黄暗褐色	やや不良	ハケ目	ハケ目	
"	25	14	"	甕 (底部)				2～3mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄暗茶褐色	やや不良	ヘラ削り	ヘラ削り	
"	26	29	"	鉢 (1/3)	21.35		7.80	砂粒を含む	淡黄薄茶暗褐色	普通	ハケ目	ヘラ削り	一部に黒斑有り
"	27	18	"	鉢 (口縁部片)	19.60			1mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄乳茶褐色	普通	ハケ目	ヘラ削り	
"	28	37	"	椀 (1/3)				3mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ハケ目	ハケ目	一部に黒斑有り
"	29	4	SB23	鉢 (口縁部片)	21.50	4.00	7.85	2mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ハケ目	ハケ目	
"	30	34	SB24	壺 (底部)				砂粒を含む	薄茶褐色	不良	不明	ハケ目	
"	31	11	"	壺 (ほぼ完形)	17.40		14.10	2～5mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄乳明茶褐色	不良	ハケ目	ハケ目	
"	32	6	"	椀 (口縁部片)	11.90			1～2mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ、ヘラ削り	ヨコナデ、ヘラ削り	
"	33	3	SB31	甕 (口縁部片)	22.00			黒色粒子及び砂粒を含む	暗茶褐色	普通	ハケ目	ハケ目	
"	34	44	"	甕 (底部片)				2mm大の小石及び砂粒を含む	黒茶褐色	普通	ヘラ削り	ハケ目	全体的に黒斑有り
"	35	39	SB33	壺 (底部片)				砂粒を含む	淡黄乳茶褐色	普通	不明	ヘラ削り	
"	36	49	"	高坏 (坏部細片)				2～4mm大の小石混入、砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明	不明	
"	37	51	SB35	甕 (1/2)	20.70			1～5mm大の小石及び砂粒を含む (赤粒子混入)	淡黒灰色	普通	ハケ目	ヘラ削り後不定方向のハケ目	煤付着有り
第 79 図	38	28	SB38	高坏 (坏部片)	25.70			1mm大の小石が多く混入、砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
"	39	26	"	不明 (底部片)				1～2mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄暗褐色	やや不良	ヨコナデ	不明	

表 1 大坪・前田遺跡 SB・SK・SD・SX 出土土器観察表 ①

挿図 番号	遺物 番号	実測 番号	出土 遺構	器 種	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼 成	調 整		備 考
											外 面	内 面	
"	40	33	SB39	壺 (口縁部片)				1~3mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄暗茶褐色	やや不良	ハケ目	ハケ目	
第79図	41	15	SB40	甕 (口縁部片)	27.30			2~10mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄乳茶明褐色	やや不良	ハケ目	不明	
"	42	173	"	甕 (ほぼ完形)	14.50	5.80	20.80	1~2mm大の小石及び細粒子を含む (赤粒子混入)	淡黄茶黒褐色	普通	ハケ目、ナデ	ナデ、一部ハケ目	黒斑有り
"	43	10	"	壺 (2/5)	13.60	3.60	13.10	2~5mm大の小石多く混入、砂粒を含む	淡黄茶褐色	不良	不明	不明	一部に黒斑有り
"	44	16	"	壺				2~7mm大の小石多く混入、砂粒を含む	淡黄暗茶褐色	普通	ハケ目	ハケ目	一部に黒斑有り
"	45	8	"	壺 (3/5)	12.60	6.00	17.00	砂粒を含む	淡黄明茶褐色	普通	ハケ目	ハケ目	一部に黒斑有り
"	46	36	"	こね鉢	23.40			砂粒を含む	灰色・口縁部黒灰色	良好	ヨコナデ	不明	須恵器
"	47	14	SB41	甕 (口縁部片)	22.60			2~4mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明	不明	
"	48	178	"	甕 (1/2)		8.90		1~4mm大の小石及び砂粒を含む (赤粒子混入)	明茶褐色	普通	ハケ目	ナデ	黒斑有
"	49	12	"	鉢 (1/2)	15.70		7.10	2mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄明褐色	普通	不明	不明	一部に黒斑有り
"	50	6	SB42	甕 (口縁部片)	19.80			2~5mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄明褐色	やや不良	ハケ目	ハケ目	
"	51	132	"	壺 (1/2)	12.40	6.70	16.00	1~3mm大の小石及び砂粒を含む (赤粒子混入)	淡黄暗灰褐色	普通	ハケ目	ハケ目	黒斑有
"	52	179	"	甕 (1/4)	17.00	5.80	23.50	1~6mm大の小石及び砂粒を含む (赤粒子混入)	淡黄暗灰褐色	普通	ハケ目	ハケ目	底部に黒斑有り
第80図	53	34	SB43	壺 (口縁部片)	16.20			5mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄明茶褐色	やや不良	ハケ目	ハケ目	
"	54	193	"	脚台付鉢 (鉢部片)	18.00			2~6mm大の小石及び砂粒を含む (赤粒子混入)	淡黄茶褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	
"	55	192	"	小鉢 (ほぼ完形)	12.10		7.45	2~5mm大の小石及び砂粒を含む (赤粒子混入)	淡黄灰褐色	普通	不明	ハケ目	黒斑有り
"	56	30	SK7	高台付椀 (底部片)	7.80			砂粒を含む	淡黄乳灰色	不良	不明	不明	瓦器
"	57	48	SK09	高台付椀 (底部)				砂粒を含む	淡黄暗褐色	普通	ヘラ調整	内黒	須恵器
"	58	17	SK12	坏 (1/2)	12.45		3.40	赤色粒子及び砂粒を含む	淡黄明茶褐色・一部乳灰色	不良	ヨコナデ、底部ヘラ切り痕	ヨコナデ、底部ナデ	口縁部の一部に黒斑有り
"	59	16	"	坏 (2/3)	12.80		3.60	赤色粒子及び砂粒を含む	淡黄乳茶褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	土師器
"	60	28	"	壺 (口縁部片)				2~3mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄乳茶褐色	普通	ハケ目	ヘラ削り	土師器
"	61	50	"	甕 (口縁部片)	21.00			1~2mm大の小石及び砂粒を含む	黄茶黒褐色	やや不良	ハケ目	ヘラ削り	煤付着有り
"	62	21	"	鉢 (口縁部片)	21.60			2mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄明茶褐色	やや不良	ハケ目	ヘラ削り	土師器
"	63	20	"	甕 (口縁部片)	17.70			砂粒を含む	乳茶暗褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	煤付着有り
"	64	2	SK23	坏	14.40	11.00	3.55	赤色粒子及び砂粒を含む	淡黄明茶褐色	普通	ヨコナデ	ヨコナデ	土師器
第81図	65	33	SX01	壺 (底部)				黒色粒子及び砂粒を含む	淡黄明茶褐色	やや不良	ハケ目	不明	
"	66	41	"	甕 (1/3)	15.80	4.60		1~3mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄乳褐色	普通	ハケ目後タタキ	不明	
"	67	42	"	甕 (3/4)	14.40	6.40	19.70	1~3mm大の小石及び砂粒を含む	暗茶褐色	普通	ハケ目	ハケ目	全体的に黒斑有り
"	68	15	"	鉢 (5/6)				2mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄暗茶褐色	普通	ハケ目、ハケ目後ナデ	ハケ目	
"	69	47	"	高坏 (2/3)	33.10	19.40		2~4mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄明茶褐色	やや不良	坏部：ハケ目、脚部：ナデ	脚部：ナデ、ハケ目	
"	70	25	SX03	壺 (口縁部片)	16.00			1~3mm大の小石及び砂粒を含む	乳茶灰褐色	普通	ヨコナデ	不明	口縁部外面に直径11.5mm程度の円形押圧痕有り
"	71	35	"	壺 (口縁部・側面部片)	13.60			5mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄暗茶褐色	やや不良	ハケ目	不明	
"	72	45	"	壺 (1/3)				8mm大の小石及び砂粒を含む	口縁部赤茶褐色が混ざる暗茶褐色	普通	頸部ヨコナデ、ハケ目	頸部ヨコナデ、ハケ目	一部に黒斑有り
"	73	18	"	壺 (口縁部)	9.90			1~2mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄明茶褐色	普通	ハケ目	ハケ目	
"	74	21	"	壺 (口縁部片)	15.40			2~3mm大の小石及び砂粒を含む	黒茶灰色	普通	ヨコナデ	不明	
"	75	32	"	甕 (底部片)				1~4mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄乳褐色	やや不良	ハケ目	ハケ目	一部に黒斑有り
"	76	20	"	鉢	12.20	5.10	11.00	2~3mm大の小石及び砂粒を含む	茶褐色	普通	ハケ目	ハケ目	
"	77	26	"	高台付坏 (口縁部片)				1~3mm大の小石及び砂粒を含む	淡黄明茶褐色	不良	不明	不明	一部に黒斑有り

表1 大坪・前田遺跡 SB・SK・SD・SX 出土土器観察表②

挿図番号	遺物番号	実測番号	出土遺構	器 種	材 質	長さ (c m)	幅 (c m)	厚さ (c m)	重さ (g)	番 号
第 82 図	1	19	S B 40	石包丁	片 岩	6.3	3.3	0.5	18	1/3 を欠損
〃	2	17	S B 42	石包丁	片 岩	10.5	4.3	0.7	40.1	
〃	3	18	S B 42	石包丁	片 岩	11.9	4.4	0.6	55.7	
〃	4	A	S X 03	石包丁	片 岩	11.3	4.6	0.6	45.7	

表 2 大坪・前田遺跡 4 地点 S B ・ S X 出土石製品観察表

版 図



(1) 上島町・日津町遺跡 SD01~03 (南から)



(2) 上島町・日津町遺跡 SD02~05 (西から)



(3) 上島町・日津町遺跡 SD07 (西から)



(4) 上島町・日津町遺跡 SD08 (西から)



(5) 上島町・日津町遺跡 SD09~10 (西から)



(6) 上島町・日津町遺跡 SD12 (西から)



(7) 上島町・日津町遺跡 SD14 (北から)



(8) 上島町・日津町遺跡 SD15~16 (北から)

図版 2



(1) 大坪・前田遺跡1地点 全景(北から)



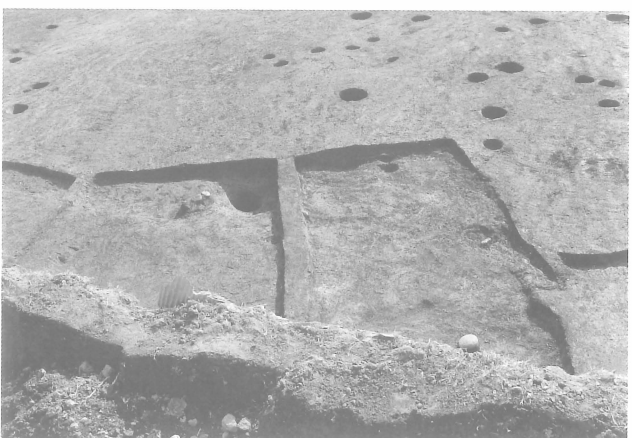
(2) 大坪・前田遺跡1地点 SB01(西から)



(3) 大坪・前田遺跡1地点 SB02・03・04(西から)



(4) 大坪・前田遺跡3地点 SB06(西から)



(5) 大坪・前田遺跡3地点 SB09(北から)



(6) 大坪・前田遺跡4地点 SB11・SK06(西から)



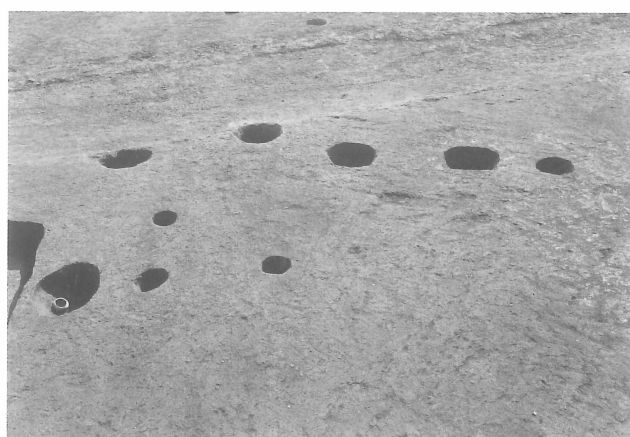
(7) 大坪・前田遺跡4地点 SB12(北から)



(8) 大坪・前田遺跡4地点 SB12(西から)



(1) 大坪・前田遺跡 4 地点 SB 17 (東から)



(2) 大坪・前田遺跡 4 地点 SB 18・19 (北から)



(3) 大坪・前田遺跡 4 地点 SB 22・SD 12 (東から)



(4) 大坪・前田遺跡 4 地点 SB 23・24・25 (西から)



(5) 大坪・前田遺跡 4 地点 SB 26 (東から)



(6) 大坪・前田遺跡 4 地点 SB 27 (西から)



(7) 大坪・前田遺跡 4 地点 SB 28・SK 12 (南東から)



(8) 大坪・前田遺跡 4 地点 SB 29 (南東から)

図版 4



(1) 大坪・前田遺跡4地点 SB31・SD09 (南東から)



(2) 大坪・前田遺跡4地点 SB32・33 (北東から)



(3) 大坪・前田遺跡4地点 SB35・36 (北東から)



(4) 大坪・前田遺跡4地点 SB38 (北から)



(5) 大坪・前田遺跡4地点 SB40・41 (南から)



(6) 大坪・前田遺跡4地点 SB42・43 (北東から)



(7) 大坪・前田遺跡2地点 SK01・04 (西から)



(8) 大坪・前田遺跡4地点 SK12 (南から)



(1) 大坪・前田遺跡4地点 SD 12 (北東から)



(2) 大坪・前田遺跡4地点 SD 14・SB 41 (南から)



(3) 大坪・前田遺跡4地点 SX 01 (北西から)



(4) 大坪・前田遺跡4地点 SX 02 (南西から)



(5) 大坪・前田遺跡4地点 SX 03 (西から)



(6) 大坪・前田遺跡 現場説明会

図版 6



大坪・前田遺跡 1 地点 SB03 162



大坪・前田遺跡 1 地点 SB03 29



大坪・前田遺跡 2 地点 SK01 144



大坪・前田遺跡 2 地点 SD02 133



大坪・前田遺跡 2 地点 SD02 147



大坪・前田遺跡 2 地点 SD02 171



大坪・前田遺跡 4 地点 SB13 31



大坪・前田遺跡 4 地点 SB17 27



大坪・前田遺跡 4 地点 SB13 13



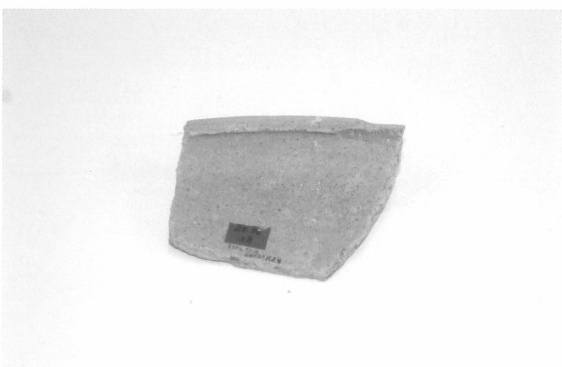
大坪・前田遺跡 4 地点 SB24 11



大坪・前田遺跡 4 地点 SB31 3



大坪・前田遺跡 SB33 49



大坪・前田遺跡 4 地点 SB38 28



大坪・前田遺跡 4 地点 SB40 173



大坪・前田遺跡 4 地点 SB40 10



大坪・前田遺跡 4 地点 SB40 36

図版 8



大坪・前田遺跡 4 地点 SB41 178



大坪・前田遺跡 4 地点 SB42 132



大坪・前田遺跡 4 地点 SB43 193



大坪・前田遺跡 4 地点 SB43 34



大坪・前田遺跡 4 地点 SB43 192



大坪・前田遺跡 4 地点 SK07 30



大坪・前田遺跡 4 地点 SK09 48



大坪・前田遺跡 4 地点 SK09 48(裏)



大坪・前田遺跡 4 地点 SK12 16



大坪・前田遺跡 4 地点 SK12 12



大坪・前田遺跡 4 地点 SK23 2



大坪・前田遺跡 4 地点 SK23 2(裏)



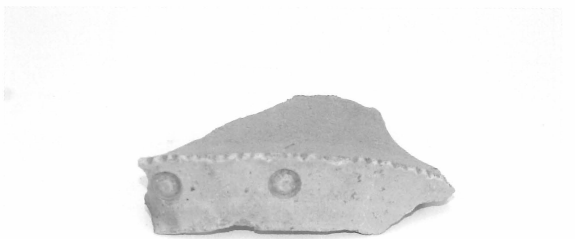
大坪・前田遺跡 4 地点 SX01 42



大坪・前田遺跡 SX01 15



大坪・前田遺跡 4 地点 SX01 47



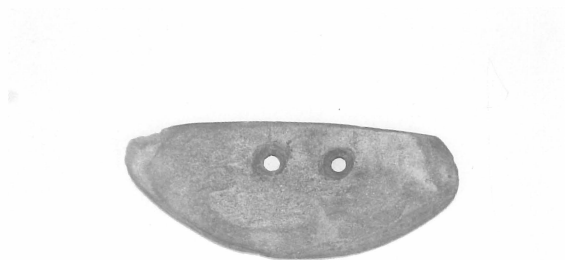
大坪・前田遺跡 4 地点 SX03 25

図版 10



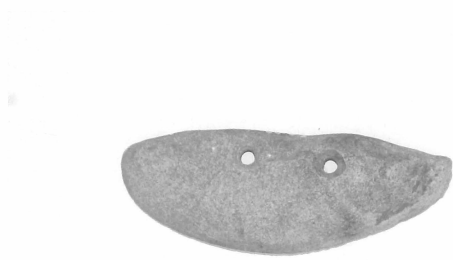
大坪・前田遺跡 SX03

45



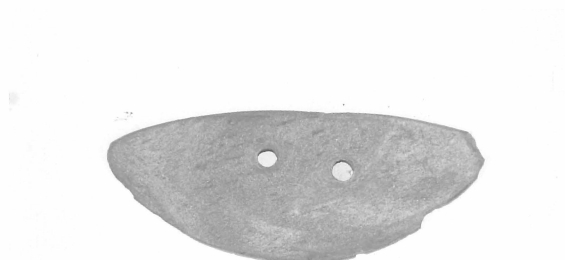
大坪・前田遺跡 4 地点 SB42

17



大坪・前田遺跡 4 地点 SB42

18



大坪・前田遺跡 4 地点 SX03

A

報告書抄録

ふりがな		やめしないいせきぐん						
書名		八女市内遺跡群 3						
副書名		福岡県八女市平・国武所在遺跡の調査報告書						
巻次								
シリーズ名		八女市文化財調査報告書						
シリーズ番号		第 1 0 6 集						
編著者名		中川 寿賀子						
編集機関		八女市教育委員会						
所在地		834-8585 福岡県八女市本町647 TEL 0943－23－1982						
発行年月日		西暦 2014年 3 月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
昭和62年度 調査 かみしままち 上島町・ ひおきつまちいせき 日津町遺跡	ふくおかけん 福岡県 やめしたいら 八女市平	402109		33°11′ 52″	130°32′ 39″	1988.11.6～ 1989.01.04	3,540㎡	圃場整備
おおつほ まえだ 大坪・前田 いせき 遺跡	ふくおかけん 福岡県 やめしくにたけ 八女市国武			33°11′ 58″	130°32′ 26″	1988.11.30～ 1989.02.06	8,310㎡	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
昭和62年度 調査 上島町・日津町遺跡		弥生・歴史時代	溝・柱穴					
大坪・前田遺跡	集落	弥生・歴史時代	掘立柱建物・竪穴住居 ・土壇・溝・不明遺構		弥生式土器・石器・ 須恵器 ・土師器			

八女市内遺跡群 3
八女市文化財調査報告書
第 1 0 6 集

平成26年 3月31日

発 行	八女市教育委員会
	八女市本町 6 4 7
印 刷	(株) 東 兄 弟
	八女市祈禱院 5 6 3